

- 1 【音声作品台本】 現役魔法少女が出演するアダルトビデオ撮影
2 　　＼お嬢様ヒロインがおほ声＼女優に堕ちるまで＼
3
4 テキスト：明日葉あすは、原作：ドダメ
5
6 ■概要
7 　　主要人数：1人
8 　　時間：110分
9
10 ■ジャンル
11 　　ボイスドラマ、魔法少女、催眠洗脳、風俗
12
13 ■キャスト
14 　　魔法少女マジカル・エリリン（台本ではエと略称）
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817

14 ■ シーン 0

15 廃墟の部屋の中に殴り込んできたヒロイン。

16 ○ 前面 6―遠

17 堂々とした大声で。

18

19 エ「おゝっほほッ！！ ここが催眠洗脳動画を配信している怪人
20 のアジトですわね！」

21 エ「いたいけな市民の皆さんを操って墮落エナジーを回収している
22 現場は抑えました！」

23 エ「言い訳無用！」

24 エ「内容など見ずともわたくしのエリート魔法で証拠の収集から黒
25 幕の探知まですばっとまるわかりです！ あとは犠牲者の市民
26 の皆さんの洗脳を解くため、大本の怪人のあなたを倒すだけで
27 すわー！」

28 エ「さあ、怪人催眠カメラ男！ 雑魚戦闘員はそこにいる二人を除い
29 て全員ぶちのめしました」

30

31 ○ 前面 6―近

32 勝ち誇ったように。

33

34 エ「残るは、あなた達、三人だけでしてよー！」

35 エ「こんなちけな廃屋ビルが拠点で、規模もあまりに小さくわたく
36 しは相手をするまでもない小物ですが……わたくしの目に止ま
37 ったのが運の尽きですわね！」

38 エ「せめて、エリート魔法少女ブリリアント・エリリンに叩き潰され
39 ることを光栄に思いながら消え去るといいですわあ！ おくっ
40 ほほほほほッ……」

41

42 ○前面6―接

43 気合の入った声で。

44

45 エ「はあっっ！」

46

47 ○前面6―中

48 堂々とした声で。

49

50 エ「どうしました？ 洗脳的能力を使ったようですが、そのような
51 下賤な能力まったくもってお効きしませんわ。んふふふふっ、
52 笑止千万です！」

53 エ「正義の魔法少女のわたくしが怪人の力にやすやすと屈するなど
54 ありえません！」

55

56 気合の入った声で。

57

58 エ「マジカル必殺・ストレートですわあ……！」

59

60 ○前面6―遠

61 勝ち誇ったように。

62

63 エ「……ふうつ。見かけによらず素早いですね。今度はマジカル殲滅・
64 スラッシュで……今更命乞いなど意味はありませんですわよ」

65

66 よくわかってない感じで。

67

68 エ「つぶ……えーぶい？　なんだか、よくわかりませんが、どんな勝
69 負でも、」

70

71 勝ち誇ったように。

72

73 エ「このわたくしが負けるはずがありません！　受けて立ちます
74 わー！」

75 ■シーン1

76 ○前面6―遠

77 勝ち誇ったように。

78

79 エ「いいでしょう。まずは」

80

81 よくわかってない感じで。

82

83 エ「……インタビューですか？ まあ、えーぶい勝負の決まりごと
84 ら仕方ありませんわ」

85

86 ○前面6―遠、右を向いて

87

88 エ「こちらの椅子にすわればいいんですね」

89

90 ○前面6―遠

91 やや馬鹿にしたような感じで。

92

93 エ「あ、わたくしのキュートでエレガントな魅力でしたら、いくらで
94 も答えてあげますが、個人情報NGですわ」

95 エ「なんせ、上流階級の出身ですから、平民と違って、守るべきもの

96 がたくさんありますの」

97 エ「んふふふっ」

98

99 堂々とした声で。

100
101 エ「さあ、どこからでも、質問なさい。完璧な、えーぶい撮影前イン
102 タビュー、華麗に決めてみせますわ」

103 エ「おーっほっほっほー！」

104
105 嬉しそうな感じで。

106
107 エ「さ、わたくしのエレガントな姿を、しっかりお撮りなさい！」
108 エ「後世に美しい記録として残るものですものね。んふふふっ♪」

109
110 ややテンションを普通に落として。

111
112 エ「あら、質問カンペの準備まで、用意周到ですこと」

113 エ「で、最初の質問は——」
114 エ「このヘアセット、どこでセットしているか？ ですね」

115
116 自慢するような感じで。

117
118 エ「このドリルロールのセットは、もちろんわたくし専属のヘアメイ
119 クアップアーティストにさせておりますのよ」

120 エ「セットに二時間かかりますが、その分早起きして、優雅なティー
121 タイムを楽しんでおりますわ」

122

123 堂々とした声で。

124

125 エ「さ、どんどん質問なさい」

126 エ「エレガントな上流階級の暮らしを紹介しますわ」

127 エ「ええと次のカンペは、魔法少女をやる理由、ですか？」

128 エ「それは決まっておりますわ。困っている平民を助けるのが、わた
129 くしたち上級国民の義務、ノブレスオブリージュですわっ！」

130

131 やや馬鹿にしたような感じで。

132

133 エ「魔法少女の露出が多い衣装を恥ずかしいと思ったことがあるか
134 ですって……愚問ですわね」

135

136 堂々とした声で。

137

138 エ「わたくしの完璧な体に恥ずかしいところなどありません。この衣
139 装もわたくしのパーフェクトなシルエットを完全にマッチして
140 いるデザインですわ。恥ずかしがる点などありません」

141 エ「次の質問は……」

142

143 びっくりした感じで。

144

145 エ「週に何回、オナニーするか、ですって……！？」

146

147 恥ずかしさ半分、怒り半分と言った感じで。

148
149 エ「どうしてわたくしが、そんなお下品な質問に答えないといけない
150 んですよ」

151
152 一転して、答えるのが当たり前と言った感じで。

153
154 エ「……確か先週は3回でしたが」

155
156 違和感に気づいていない感じで。

157
158 エ「あら、どうしましたの？ 催眠洗脳なんてかかってるわけありま
159 せんわ」

160 エ「まあ、催眠カンペなんてまだいつてらっしゃるの。今のはえーぶ
161 い勝負の作法に従ってインタビュに答えてるだけですわ」

162
163 特に氣していない感じで。

164
165 エ「……あれ、なにかおかしいような……まあ気の所為でしょう」
166 エ「次は……処女膜の意味ですか？ まったく、そんな簡単な質問、
167 処女膜とは女性の性器の入り口を守っている純血の証で……殿
168 方との性交渉が、」

169
170 驚いている感じで。

171

エ「あれ？ 未経験で、口が止まらない！？」

173

一転して、平坦に答えてる感じで。

174
175

エ「処女であることを示すものですわ」

177

混乱している感じで。

179

エ「明らかにおかしいですわ……どうしてわたくし、こんなお下劣な
問いに、答えなくてはならないのですか……くうっ……！」

181

エ「もういいですわよね。次に行ってくださいませっ……！」

182

183

冷静になった感じで。

184

185

エ「これで、最後ですね」

186

187

言い切って驚いた感じで。

188

189

エ「え……現役魔法少女がアダルトビデオに初チャレンジ、処女オマ
ンコは戦闘員チンポに勝利できるのか？ ですって……！」

190

191

192

混乱している感じで。

193

194

195 エ「な、ななな、このわたくしを バカにしていますのっ!?!」

196
197 恥ずかしがって居るけど無理して言っている感じで。

198 エ「でっ、できますわ、そのぐらい……わたくしのおまんこが、単な
199 る戦闘員ふぜいに負けたりなど……」

200
201 混乱している感じで。
202

203 エ「何かわからないですが、このままではまずい気がしますわ! ……
204 ……ここは問答無用で、あれ、でもえーぶい勝負を宣言して……ま
205 さかあの宣言をしたせいで催眠洗脳をわたくしに!?!」

206 エ「あんっ……な、なにをいきなり……」

207 エ「女性の目の前でズボンを……っ!?! そんな破廉恥なもの、恥を
208 知らない!?!」

209
210 焦っている感じで。
211

212 エ「つく、魔法のステッキをふろうとすると体が……」
213

214 混乱している感じで。
215

216 エ「うっっ……やっぱり、おかしいですの……」
217

218 戦闘員が目の前で自慰を始める。

219 ○前面6―中、右を向いて

220

221 エ「わたくしが自分から殿方のオチンポと勝負する気になるなんて」

222

223 焦っている感じで。

224

225 エ「くっ……まさか、催眠カメラ男の術中にはまって……いえ、そ
226 んなことは……絶対、絶対にありませんわ……！」

227 エ「このブリリアント・エリリンが淫らな催眠にかかるなど、そんな
228 初歩的な手に引っかかる、素人魔法少女ではありませんもの……
229 ……」

230 エ「あ……それ、また催眠カンペ……だ、ダメですのッ、」

231 エ「戦闘員のチンポ扱きなど、見たくありませんのに、」

232 エ「ううつ、顔が動かせませんの……視界に、どうしても入れてしま
233 いますのッ！」

234

235 羞恥と驚きが合わさった感じで。

236

237 エ「おっ、おやめなさいッ……いや、いやあッ……！」

238 エ「そんなカッチカチにお勃起した男性器、お父様のも見たこと無い
239 のに！？ 目の前につきつけてこないでくださいませッ……！」

240 エ「はあ、はあはあ、親指よりも太い胴体がビクビクう、震えてえ、

241 そんな下品な真似を、このわたくしの前で……」

242 エ「もう、おやめなさい。やめなさいと言っているのです！」

243 エ「え、えーぶい勝負……これが勝負ですってー?」

244

245 無意識に興奮して声が震えてきてる感じで。

246

247 エ「先端がいやらしく跳ねて、ふう、ふうっ……射精って知りません
248 わそんな下品な知識!」

249 エ「くうっ、口が勝手に……これがえーぶい勝負なんですの!?! ま、
250 負けるわけがありませんわ。わたくしはエリート魔法少女ブリ
251 リアント・エリリン……なんですからあ」

252

253 戦闘員が男性器を握らせてくる。

254 ○前面6―近、右を向いて

255

256 エ「ひゃあっ、わたくしの手のひらに擦りつけながら、」

257

258 怯えと羞恥が合わさった感じで。

259

260 エ「ひい、ひいっ、激しく扱かないでくださいまし……あぶ、んぶう、
261 先端からくっさいお汁が溢れてきてはあはあ、お鼻がひんまが
262 ってしまいますわあ」

263

264 催眠で自慰中の男性器の実況が口から自然に出てしまっている
265 流れ。

266 だんだん興奮が高まっていく感じで。

267

エ「こゝ、これぐらい……ひいつ!？」

269

エ「んぶうッ……お勃起が……はっ、激しく跳ねあがってえ……」

270

エ「そ、そんなあゝッ……!」

271

272 ○前面6―中

273

射精。

274

275 気づかないうちに嫌悪感が少なく、興奮の方が大きくなってい
276 く感じで。

277

278 エ「ああああつ、汚らしい白濁液が、いっぱい出されてますわ……」

279

エ「手コキぶっかけ射精……なんて、お下品な、はあ、はあ……こん
280 なくっさい男性の体液……これが精液なんですか？ ザーメン
281 なんてお下品な呼び方っ、どちらでもいいでしょう!」

282

エ「このブリリアント・エリリンの手になんという……指の間まで、
283 ねっとねとのドロドロでえ、あふ、はふう……」

284

285 悔しそうに。

286

287 エ「……とてもお下品な攻撃ですわね」

288

エ「ですが、このわたくしは簡単に悪に屈したり、いたしませんわ」

289

エ「あふ、はふう……興奮なんてしていませんっ!」

290

291 ○前面6―近

292 勝手に興奮度が上がってしまっていく感じで。

293

294 エ「あんっ……なっ、なんですの……そのカメラ、先程はまったく
295 気にならなかったのに……」

296 エ「向けられると、はあはあ、おかしい気分になってしまっ……♡」

297 エ「こんな下賤な行為で喜ぶわけが……ありません！」

298

299 慌てている感じで。

300

301 エ「まるでオナニーしたあのような……はっ！？ なしです、今の
302 なし！ つく、なんて卑劣なっ！」

303

304 混乱している感じで。

305

306 エ「なんですの、これ……ううっ……」

307

308 ○前面6―中

309

310 エ「なにを笑っておりますの……はあ、はあ、失礼ですわよ……！」
311 エ「ん、そのカンペは……」くりっ……」

312

313 軽くイっているのを声を殺して耐えている感じで。

314

315 エ「んん、んんっ……」

316

317 驚いている感じで。

318

319 エ「魔法少女のお清楚ショーツのナマ脱ぎ……ですって……」

320 無理をして堂々と言っている感じで。

321

322 エ「こ、これは勝負ですから。わたくしが催眠洗脳なんてかかってる
323 わけがないですわ。えーぶい勝負ごとき問題なくやりきって勝
324 利してみせますわ」

325

326 慌てている感じで。

327

328 エ「ぬ、濡れてるのは汗ですー!」

329

330 羞恥で声を震わせている感じで。

331

332 エ「なんて下品な勝負……殿方の前でしょ、ショーツを脱ぐなんて…
333 ……」

334

335 慌てている感じで。

336

337 エ「脱ぎたてパンティの攻撃力ですか？ ま、まあわたくしぐらいに
338 になると下着からも……あ、あっ広げて移さないでくださいー?」

339 エ「これだから下賤な者たちはっ！」

340

341 混乱している感じで。

342

343 エ「つぎは……ほ、本番ですよ？　なんでそちらの戦闘員はすでに仰
344 向けて倒れて……ひ、卑猥な所をむき出しに……っ。」

345

346 無理をして堂々と言っている感じで。

347

348 エ「セックスの意味ぐらいっ……え、ええー？　……お、怖気づいて
349 なんているわけが、ないでしょうっ！？　もちろんう、えーぶい
350 勝負でせ、セックスすることぐらい……ほ、ほんとに……つく、
351 宣言を取り消すなんて卑怯な真似はしません！」

352 エ「さ、お早くなさいっ……そのお勃起い、」

353

354 不安そうに。

355

356 エ「魔法で処女膜の強度を上げておけば大丈夫ですよね……」

357

358 ○前面6―近

359 混乱している感じで。

360

361 エ「え、この薄いパネルは……？」

362 エ「わたくしのお腹の上に……って、はあはあ……これ、まさか、お

363 まんこの中味まで……全部、すけすけで……あうう……まる見
364 えですわね……なんという破廉恥なものを……」

365 エ「あ、ああ、あああ……ちよ、ちよっとお待ちなさい……」

366 エ「まだ気持ちの準備が、あひ、あひあ、あっあああ……いきなひ
367 硬い……んぐぐっ……いつ、痛い……つく、こんな雑魚チン
368 ポなん、ってえ!？ 絶対負けるわけがっ、あ、あっ……」

369

370 ○前面6―近、右を向いて

371 虚勢を貼っている感じで。

372

373 エ「ふう、ふうっ……げ、下品な表現ですがエリートのわたくしの膾
374 への称賛はうけと、っんん!？ くうっ、すぐに慣れて逆転して
375 みせますわっ!」

376

377 慌てている感じで。

378

379 エ「え、まだ入り口!? あ、んあっ……無理やいい、こじ開けられ
380 てえ……奥まで全部う……」

381 エ「ぶぐ、んぐう……え、ええ、戦闘員にしては、んあっ!? ま、
382 負けませんとも! 魔法少女が墮落エナジーを回収されるなん
383 て不名誉なことっ んおっ♡」

384

385 ○前面6―近

386

387 エ「んん、んんんっ、わたくしの処女膜う……ガチガチの先っぽ
388 で、ふひ、くひいいっ……引きのばされてえ……そんなあ……強
389 化魔法の集中力がっ!？」

390

391 処女膜を破られる。

392 痛みで悲鳴を上げている感じで。

393

394 エ「んひいッ、ふひいいいい——ッ……!……!……!」

395 エ「あ、ああ、あええ……今あ、ズボってえ、ザコチンポに、おまん
396 こ貫かれてえ、処女を奪われてしまいましたあ……」

397

398 慌てている感じで。

399

400 エ「録画映像なんていりませんわ!？」

401

402 催眠洗脳でセックス勝負を続けるという認識担っている。
403 気丈な感じで。

404

405 エ「くうっ……まだです! 不覚を取って墮落エナジーを回収され
406 てしまいました……すぐに取り戻してみせっ」

407

408 初めての感覚に驚いている感じで。

409

410 エ「ひう、ひううっ、んひうっ……」

411 エ「あ、ああ、あっああ、ピストン、はっ、激しっ……」
412 エ「こんなッ……あ、ああ、あっああんッ……」
413

414 催眠カンペで更に上書きされる。
415

416 驚いている感じで。

417 エ「あうう……ちんぽ大好き淫乱体質に、なる、ですって……」
418 エ「そんな変なカンペえ、また見せないでくださいませ……!」
419

420 ○前面6―近、右を向いて

421 快感に痛みを上書きされて混乱している感じで。
422

423 エ「こんな下品な催眠洗脳なんか、にいつ、なんですこれ!?!」
424

425 エ「感じてるっなんてえっ、あん、あんあん♡」
426

427 快感に流されそうになっている感じがで。
428

429 エ「わたくし、そんな淫乱で下賤な女では、ございま、んああっ
430 ♡♡!?!」

431 エ「あ、ああ……らめ、らめえッ……」
432 エ「急になんなんですかこれ!?! 激しいのにとろけるようになっ♡
433 ぞわぞわ何か登って♡……あ、あ、あ♡ あっおおっ♡」
434

羞恥に震えてる感じで。

エ「品性のかけらもない声え、出で、しまいますのッ……！」

○前面6―中

なんとかやる気を振り絞っている感じで。

エ「うう……雑魚戦闘員などにつ……痛みがなくなったのでしたら
……んあっ♡ エリート魔法少女のじつりよおっ♡ くうっ♡
……はあ、はあっ♡ 見せてあげますわっ♡……！」
エ「あひ、はひい……あん、あんあん、あっあんっ……！」

無意識に快感を受け入れて嬉しそうに。

エ「おまんこをつ……締め付けてえっ♡ ……ふう、ふあっ♡ 敵に
アドバイス、するなんて、後悔しますわよっ……んあっ♡ こう
やって腰をひねって戦闘員おちんぽなんかっ♡」

エ「くひ、ふひい、んっいいっ……！」

エ「あ、ああ、あふあッ、あはあッ、んっああッ……！」

エ「うっつ、おまんこ気持ちいいですわっ♡ 戦闘員オチンポっ奥ま
でっ♡……っく、カンペに書かれたことに逆らえないなんてえ
っ♡」

どんどん興奮していった息が荒くなっていく感じで。

459 エ「ひん、ひんひん、エリート魔法少女のわたくしがドスケベなオチ
460 ンポ大好きメスに墮ちるなんてっ……ありえませんか……ん
461 おおっ♡」

462 エ「あひ、はひい、んいっ……透過パネルの映像っ♡ あんな奥ま
463 で♡ んあっ♡ わたくしの中に♡ か、顔の横にチンポがつい
464 ている映像っ♡ あ、あっ♡ あああ♡ なんて下品なっ♡」

465 エ「程度の低い男性はこんなことで興奮♡ んおっ♡ するのです
466 か♡」

467
468 ○前面6―近、右を向いて
469

470 エ「っ……くうっ♡ 声出るのは♡ ひいっ♡ これぐらいでっ♡
471 わたくしを負かしたなんて♡ おうっ♡ んおっ♡」

472 エ「最高なわけっ♡ こんなザコチンポでっ♡ わたくしの相手え
473 っ♡ あお、ああお、あおうっ♡」

474 エ「ぶっといので、おまんこグチュ混ぜえ♡ 攻撃なんて効くわけっ
475 ♡ んんん„ッ♡♡♡」

476 エ「はあ、はあっ♡ もっと淫、語？ オスマラ、んあっ♡ デカマ
477 ラっ♡ えっちな言葉でっ♡ そんな下賤な言葉、わたくし
478 の口に喋らせないください！？ っく、そのカンペに書かれ
479 ると、ダメ、デカマラチンポ下のお口に突っ込まれるとよだれだ
480 らだら流して美味しく頂いてしまいますわっ♡」
481

482 □では否定しても声は完全に喜んでいる感じで。

483
484 エ「思つてません！ んひいつ♡ そんな、ことっ♡ あひっ♡ し
485 たのお口はそんなこと思つてないって♡ ああ♡ そんな突き
486 上げちゃダメえ♡」

487 エ「わたくひ、こんなに淫乱な女では、ないですに、」

488
489 ○前面6—中
490

491 エ「ああ、カンペ見せないでくださいまし！ 読んじやう♡ 下品な
492 セリフロから出ちやいますわっ♡ はお、はおお、はおうッ、え
493 ーぶい勝負で、雑魚戦闘員のデカマラチンポ攻撃に負けてイッ
494 ちやいますの♡」

495
496 本気で絶頂している感じで。
497

498 エ「ああ、ああおお、あっおおおっ、イクう、イクイクイクう、イグ
499 うんッ……処女だつらのにい、イっひやいますのお——ッ♡♡」

500 エ「あっおおおおおお——ッ♡♡♡」
501 初めての絶頂後で息絶え絶えな感じで。
502

503 エ「あえ、あええ……んふええ……」

504 エ「びしゃびしゃあつて、あんなにわたくしの中で♡ カメラと透過
505 パネルでそんなところまで撮られて♡ 無様に負けてしまうな
506 んて」

507 エ「はぁ、はぁっ♡」

508

509 シーン転換。

510

511 ○前面6—中

512 困惑している感じで。

513

514 エ「か、カメラに向けて一言ですの……っ。」

515 気丈に振る舞っている感じで。

516 エ「はぁ、はぁっ♡ これはリベンジですよ……そう、まぐれで1

517 回勝ったぐらいでは、わたくしの心をおることなんて出来ませ

518 んのよー!」

519

520 竿役に騎乗位で乗りかかる所。

521 ○前面6—近

522 ちよつと嬉しそうに。

523

524 エ「怪人であるアナタ。催眠カメラ男を倒してしまえば問題ありませ
525 ん。こ、こんなザコ……戦闘員より二周りほどおおきい♡
526 つく、それでもわたくしは負けません♡ あ、あ♡ 顔に先端を
527 突きつけないでくださいー?。」

528

529 催眠を更にかけられて淫乱ことが当たり前になっている。

530

531 エ「ふー、ふー♡ 先程の戦いでデカマラチンポの対処法は完璧です
532 わ♡ こうやって下品なポーズで♡ 挑発してあげればいいの
533 ですわね♡」

534

535 完全に発情して息を荒くしている感じで。
536

537 エ「しっかりと、ガニ股になってえ、おまんこくぱあ、いたしまして
538 ♡ こ、これはえーぶい勝負のためですから……ギャップ萌
539 え？ はわかりませんが、けっしてわたくしが望んでいやりし
540 い姿、カメラに向けてるわけっ……んおお、♡♡♡……」

541 エ「んひいつ♡ しょんにや♡ 思ってたよりもっ♡ んおお、っ♡
542 大きいっ♡ で、でもお、負けませんことよ♡」
543

544 ○右耳9ー近
545

546 エ「あん、あんあん、いっぱひ腰い、振ってえ、あなたのお勃起から、
547 んお、んおお♡ ザーメン搾って、さしあげますことよ♡」
548

549 下品に声を堪えられなくなってる感じで。
550

551 エ「ひっっ♡ ひぐうっ♡ おひおっ、おほおんッ……さっきよりも、
552 感じてしまっ……ひい、ひいんッ……」

553 エ「い、いったおまんこで、連続ハメえ、すっっ、すっすぎですわ♡」

554 エ「ほお、ほおおっ、おっほおお……」

555

556 ○前面6―近

557

558 エ「またカンペー!? 破廉恥なオホ声でいきまくって……!?

559 オホ声? んおほおっ♡ え、えー!? こんな下品な声……

560 お、お” おほっ♡ オホ声止まりませんわ♡!?”」

561 エ「おまんこの感度、おふ、ほふう、おふおッ、爆上がりしてえ……」

562 エ「油断してると、意識い、ぶっトんでしまいそうですのお♡」

563

564 完全に快楽に流されて声を上げている感じで。

565

566 エ「おおっ、イグ、イグうん♡ またいつでえ、しまいますッ♡」

567 エ「連続イギいしたらあ♡ 誰の目から見ても、完全敗北ですのお♡」

568 エ「戦闘員チンポにイがされでえ、怪人チンポにも、おう、おうう、

569 おっうう、気持ちよぐ♡ させられてしまいますのお——ッ♡♡」

570

571 ○前面6―中

572

573 発情しきって下品に嬌声を上げてる感じで。

574

575 エ「れもお、耐えるの無理い、無理無理無理、無理いゝッ♡」

576 エ「えーぶい勝負なのに連続敗北いき晒してしまいすわっ♡」

577

578 中出し射精。

579

エ「おお、おおお、おっほおん……おっほおおお——♡♡♡」

581

582 射精中。

583

○前面6—近

584

585 エ「んひいつ♡ まだまだ射精止まりませんわっ♡ わたくしのあ

586 そこから白いのいっぱい溢れて♡ んお”♡ こんな無様な所

587 撮られてるのに♡ イってしまいますの♡ カンペのせいです

588 わ!?! こんな悔しいのに♡ 両手でピースなんて恥ずかしい

589 格好で♡ ああっ♡ チンポ動かしちゃだめですわ♡ またイ

590 ッて墮落エナジーを放出してしまいます♡ んほおっ♡ ん

591 ひひひっ——♡♡♡——!」

592 ■シーン2

593 廃墟の部屋の中に殴り込んできたヒロイン。

594 ○前面6―遠

595 怒りで声を荒らげている感じで。

596

597 エ「前はよくもヤッてくれましたわね！」

598

599 堂々と言っている感じで。

600

601 エ「催眠カメラ男っ！ こんどこそ墮落エナジーの回収を阻止して
602 みせますわっ！」

603 エ「ボロボロのビルに逃げこんで、隠れたつもりですか？ わたくし
604 の目はごまかせませんわよ」

605

606 ○前面6―遠

607 勝ち誇ったように。

608

609 エ「一度、わたくしに勝利したからといって、油断しましたわねえ。
610 んふふっ、アナタの能力は把握いたしましたわ。同意しなければ、
611 そのお下劣な催眠洗脳には、かからないのでしょうか」

612 エ「今度こそわたくしが完膚なきまでに叩きのめしてさしあげます
613 ことよ」

614 エ「おーっほほほっ！」

615

616 ちよつと不安になっている感じで。

617

618 エ「え、後催眠？ ふふん、そんなもの……ん♡ んんっ♡」

619

620 堂々とした感じで。

621

622 エ「そんな、苦しまぎれの嘘には引っこかりませんわ」

623

624 後催眠で常識改変されてる状態。

625 ○前面6―近

626

627 エ「それじゃあ、覚悟してオチンポを出しなさい」

628 エ「エリート肉便器ヒロインのわたくしが、あなたのザーメンっ、空

629 っぽになるまで、とことん搾り抜いてあげますわー！」

630

631 ちよつと不安になっている感じで。

632

633 エ「なっ、なにを笑っているのですかー！」

634

635 誇らしげに旨を反らせて。

636

637 エ「わたくし、ブリリアント・エリリンはエレガントで、キュートな
638 最高のスーパーヒロインですわよっー！」

639 エ「もちろん、生ハメおまんこも、極上の使い心地ですよ」

640 エ「ならば、選ばれし者の務めとして、怪人どものオスマラにドスケ
641 ベゴ奉仕して、こつてりザーメンをたくさん頂くのが当たり前
642 でしょう?」

643 自信を持って言っている感じで。
644

645 エ「笑止♪ わたくしは、後催眠になど、かかっておりません」

646 エ「あなたの顔を見てしまつて、即、自らを肉便器と思いこんでしま
647 うなど、」

648 エ「絶対にッ、ありえないことですわ!」
649

650 ○左耳3―遠

651 驚いている感じで。

652

653 エ「催眠カメラ男、ここまで来て、逃げるのですか?」

654 エ「お待ちなさい!」
655

656 ○前面6―遠

657

658 勝ち誇ったように
659

660 エ「トイレに逃げ込むなんてなんておバカなんでしょう。おーほほっ
661 ♪ トイレほど肉便器のわたくしに、ふさわしい場所はござい
662 ませんわよ」
663

664 ○前面6—中

665 感心している感じで。

666

667 エ「ふん、なかなかキレイですわね」

668 エ「エリート肉便器ヒロインのわたくしにぴったり♪」

669

670 ○左耳3—中

671 ちよつとキョトンとした感じで。

672

673 エ「え……壁尻ですの？ ふふっ、それぐらい問題ありません」

674

675 やや混乱している感じで。

676

677 エ「わたくし、変身ヒロ……あれ、なにか変でしたっけ？ んんっ♡
678 ではなく、肉便器ですもの♡」

679

680 ○前面6—中

681 自信を持って言っている感じで。

682

683 エ「壁尻A級免許を持っておりますわ♪」

684 エ「むっちむちのデカ尻で、はあはあ、怪人たちのオチンポから、ザ

685 ーメンを搾ることのできる、最上、最高級の肉便器にだけ与えら

686 れる、栄光の資格ですの♪」

687

688 ○前面4―中

689 ちよつと馬鹿にするような感じで。

690

691 エ「あら、壁尻用の部屋まで用意してそんなにわたくしにやられたい
692 のです?。」

693 エ「中はカンペの差込口とお尻を出す穴だけ。体も顔もほとんど動け
694 なくて、扉を閉じたら外の様子は全くわからなくなるのですね」

695

696 ○前面6―近

697 自信を持って言っている感じで。

698

699 エ「ふふふ、良いでしょうあなた達の策に乗ってあげます!」

700

701 壁尻に自ら嵌って挑発。

702

703 エ「さ、わたくしをバックからお使いなさい」

704

705 声はマイクで収録している設定。

706 勝ち誇ったように。

707

708 エ「あなた達は為す術もなくチンポからザーメンを搾り取られて墮
709 落エナジーを回収できなくなるほど空っぽにしてあげますわ!」

710

711 尻側に戦闘員が来た所から。

712 やや発情している感じで。

713

714 エ「んっ♡ これはお尻を手で掴まれてますわね。乙女の生尻を遠慮
715 なしに揉みしだいて♡ ふふんっ、本来ならあなた達がさわる
716 ことなど指先でもありえないのですのっ、んおっほお。っ♡」

717

718 男性器を女性器に挿入。

719 唐突な快感でびっくりした感じで。

720

721 エ「前戯もなく♡ んぁ♡ おちんぽ挿入するなんてッ♡ なんて礼
722 儀のなっていない♡」

723

724 やや発情している感じで。

725

726 エ「これは、はあはあ、戦闘員チンポですわね」

727 エ「こんな太くて下品なチンポ♡ わたくしでなければ壊れてしま
728 いますわよっ♡」

729 エ「んおっ♡ わたくしのお尻の魅力に負けて腰を振り始めました
730 ねっ♡」

731 エ「もっと激しくしないと、わたくしのほうから、んんんっ、」

732

733 嬉しそうに。

734

735 エ「おまんこを締めてえ、それえッ、ザーメン噴き出させますわ♡」

736
737 バカにした感じで。
738

739 エ「うんんっ♡ 他愛ないオチンポですこと♪」

740 エ「もう降参ですよ、精液、びゅぐびゅぐお漏らしして、はあ、はあ
741 っ♡ 本当にザコいですわねえ。んっ♡」

742
743 だんだん興奮して発情していく感じで。
744

745 エ「次のオスは誰で……ああ、ああおっ……これは、硬くて太くてえ、
746 エクセレントなデカマラですのお♡」

747 エ「ほお、ほおおっ……抑えようとしてもドスケベな喘ぎい、」

748
749 とても嬉しそうに。
750

751 エ「溢れてしまつて、はあ、はあはあ、これは怪人級のチンポお……
752 ふう、ふうっ、催眠カメラ男、あなたのですわね♪」

753 エ「ふふっ、辛抱たまらなくて、激しいピストンで、はあ、はあっ、
754 奥までぐちゅ混ぜにされていくの、わかりますわ♡」

755
756 完全に発情しながら勝ち誇ってる感じで。
757

758 エ「おふ、おふお、おほお……はあ、はあ、怪人ちんぽおっ大きいで
759 すわ♡ おっほっ♡ でも、エリート肉便器のわたくしには通

760 用しませんことよっ♡」

761 エ「さ、このまま、わたくしのおまんこで、んんっ、ザー汁バキュー
762 ムう、いたしますのお、んん、んんっ、んっんんっ♡♡」

763

764 とても嬉しそうに。

765

766 エ「……あん、あんあん、射精しながらあ、ピストンっ♡」

767 エ「さすがに怪人は簡単に参りませんわね……」

768

769 アナルに指を突っ込まれる。

770 驚いている感じで。

771

772 エ「って、ほお、ほおう、ほおおおっ、そこは、お尻い……」

773

774 初めての快楽に困惑している感じで。

775

776 エ「まだあそこにチンポ入ってるのに……んお”っ♡ お尻の穴に、
777 硬くてごついのお、おお、おおほお、押し込まれてえ……」

778 エ「おん、おんおん、おっんんっ……これえ、なんですの!?!」

779 エ「大体乙女のお尻にいきなりっ♡ 心の準備が、ふひ、はひい、ら
780 らめえッ……」

781

782 快楽でとろけきってる感じで。

783

784 エ「ああ、ああお、ああうう、らめって言ってるのに、お尻の奥で、
785 ぶるぶるう、お、おお、おっおおっ……おっほおんッ……」

786 エ「ほんろに無理らってえ、アナルの内側の振動すごくてえ、くひ、
787 んひい、肛門がぱっくり開いたままに、ふひ、はひい、なっひや
788 うッ♡」

789

790 顔をのけぞらせているイメージ。

791 ○前面6―近

792 感じきって声を荒らげている感じで。

793

794 エ「おマンコの方も激しくっ♡ ブルブルぐちよぐちよは溶けちゃ
795 いますう！?」

796 エ「おまんこズボズボ、絶対変になるヤツう♡」

797 エ「おほっ♡ しかし、これっ♡ んおおっ♡ ぐらいでっ♡ エリ
798 ート肉便器ヒロインのわたっ♡ あ、あっ♡ あああっ♡」

799 エ「お潮吹いてイってしまっうなんてっ♡!?! ひいっ♡ ひぐうっ♡
800 止まりませんっ、怪人チンポで2つ穴攻めで♡ イクの止まり
801 ませんわっ♡♡♡」

802

803 混乱しながらイッてる感じで。

804

805 エ「おう、おうう、おっううっ、今度は別のチンポっ、そ、そこはっ
806 ♡ 硬いの抜かれたお尻い♡ あ、あっ♡」

807

808 ○前面6―近

809
810 エ「え、カンペ。お尻の穴はアナルって言うんですの？ んあっ
811 わたくし、アナル弱いのですわー!？」

812 エ「ああ、ああう、ああおっ、アナルにズボズボお、ほお、ほおお、
813 激しくって……あ、あん、あっああ……あっおおッ……」

814 エ「おまんこも一緒にぐちゅぐちゅ♡ わけわかんないのお……♡」

815
816 ○前面6―近

817 イきっぱなしになってる感じで。

818
819 エ「こんなに激しいの、お、おお、ほんろに耐えられない♡」

820 エ「ほお、ほおう、わたくし、精液搾るのが使命なのに、おふ、おふ
821 お、先にアグメっひゃうのお♡」

822 エ「おほっ♡ ふおおっ♡ おっおお♡ お”っほおん”ッ♡」

823
824 ○左耳3―接

825 イッたあとで息も絶え絶えになってる感じで。

826
827 エ「はあ、はあ♡ はああ♡……これで終わりですか♡ たわいも…
828 …」

829
830 ヒロインの目の前の扉が開いてチンポを突きつけられる。

831

832 エ「あら、小さな扉？ お口の前に開いて、んぶっ!？」

833

834 ○前面6―近

835 喜びながらもなにかおかしいと混乱している感じで。

836

837 エ「いきなりオチンポが目の前にい……なんて臭いチンポ♡ んち
838 ゆ♡ こんな狭いところだとお口とチンポがくっついて♡ わ
839 たくしなんでこんな下品なチンポにキスして♡ 臭いの♡
840 あれ、でも肉便器ですからチンポをお口できれいにするのも、あ
841 れ?。」

842

843 フェラ開始。

844 目の前のチンポをフェラ。

845

846 エ「んおっ♡ お尻の方もまた誰かが突っ込んで♡ んちゅっ♡ れ
847 ろっ♡ こんなくっさいちんぽわたくしのれろれろ攻撃で♡」
848 エ「ちゅぶっ♡ れろっ♡……んおっ♡ おほおっ♡……はあ、はあ
849 っ♡ ちゅ♡……んぶっ♡ んぼっ♡……じゅるっ♡ じゅる
850 るるっ♡」

851 エ「れもお、わたくひ、負けませんわ……♡」

852

853 とても嬉しそうに。

854

855 エ「こんなにくっさいのに♡ 硬くてお口壊れちゃうぐらい大きく

856 て♡ んちゅぶう♡ わたくし全力で」

857 エ「オチンポから、せーえきい、搾りますわ、ぢゅばぢゅぶ、」

858

859 ディープフェラしている感じで。

860

861 エ「んちゅぶう、ぢゅばぢゅばぢゅぶ、ぢゅぶぶう♡」

862

863 催眠を解かれて我に返る感じで。

864

865 エ「あぶ、はぶう……え、カンペ……体の感度は変わらずに意識の常
866 識改変だけ解除、ですの？……え、ええ！？」

867

868 驚いている感じで。

869

870 エ「体が壁に埋まって、お尻も顔も動かさせませんわっ！」

871

872 ○前面6―近

873

874 エ「あそこお尻になにか入って！？ 目の前にあるのはオチンポ
875 ですよ！？」

876

877 驚いてるけど快感に塗りつぶされて感じてる感じで。

878

879 エ「んお♡っ♡ んぶう♡……臭くて苦しくて気持ち悪いはずなのに

880

っ♡」

881

エ「気持ちよくなつてて、こんな……ありえませんのお……」

882

エ「お尻もおマンコもチンポ抜き差しされてるんですの♡!？」

883

884 ○前面6―近

885

886

エ「わたくしがっ、エリート魔法少女の♡ だめですわっ♡ チンポ

887

攻め♡ すっすぎっ♡」

888

エ「せ、精液の匂いっ♡ こんなにくっさくてどろどろで♡ ちんぽ

889

で喉♡ じゅばじゅばされてるのにつ♡ おほっ♡ んお”♡」

890

エ「体が下品チンポの味♡ 覚えさせられて♡ 勝手に喜んでお便

891

器みたいに使われてるの♡ おっ♡ んお”っ♡ おお”お”

892

っ♡♡♡ 墮落エナジーがっ♡」

893

894

イッてる感じで。

895

896

エ「イグ、イグイグイグ、イグうんッ……♡」

897

898

一度射精した前後の男性器が抜かれる。

899

息も絶え絶えな感じで。

900

901

エ「んっぶ♡……全部にドロドロのくっさいザーメン♡ はあ、ふあ

902

あ♡ イきすぎて体に力が入りませんですわ♡」

903

904 別の男性器とバイブが再挿入。

905 ○前面6―近

906 新しい刺激にびっくりしながらもイッてる感じで。

907

908 エ「ぴあっ♡ またチンポが差し込まれて♡ お尻とおマンコにも♡」

909

910 感じながらも困惑している感じで。

911

912 エ「あ、あ♡ まだ終わりではないですの……そんなあ……!」

913 エ「あお、あおおっ、あおうんッ……」

914

915 ○前面6―近

916

917 エ「そんなあ、あんなに出したのに、あなたたちまだあ、」

918

919 連続イきしている感じで。

920

921 エ「ひん、ひんひん、ひいんっ、三つ穴ピストン、すっしゅぎい♡」

922 エ「これえ、無理い♡ 無理無理無理いッ……もっ、もう無理ですわ

923 あゝッ!..?」

924 エ「あ、ああっ♡ またひゃいって♡ お便器みたいに乱暴にっ♡」

925 エ「あああっ……♡♡♡……!」

926

■シーン3

927

○右耳9―遠

928

元氣な感じで。

929

930

エ「皆さま、今日はわたくし、ブリリアント・エリリンのファン感謝

931

祭に来ていただきありがとうございますわー！」

932

933

嬉しそうに。

934

935

エ「この狭い地下ライブ会場に、百人、集まっていただけで、本当に

936

うれしいですよ♪」

937

938

声のトーンを下げて悔しそうにつぶやく感じで。

939

940

エ「……つく、わたくしから回収した墮落エナジーでこんな大規模な

941

催眠洗脳を起こすなんてなんという卑劣な行為……」

942

943

○前面6―遠

944

945

エ「おのれ、催眠カメラ男つ、許しませんことよ……しかし、指示通

946

り進めないとファンの皆さまが大変な目に……くっ……ここは、

947

耐え忍んで、スキ隙を見つけるしかありませんわね」

948

949

○右耳9―遠

950 ファンに向き直ってごまかす感じで。

951

952 エ「あ、いえいえ、なんでもありません。こちらのことですよ。お
953 ほほほっ♪」

954

955 元気な感じで。

956

957 エ「それでは、抽選でチケットを入手した幸運なファンのかたがた
958 に、」

959 エ「おちんぽ握手会を……」

960

961 びっくりした感じで。

962

963 エ「つて、え？……お、おちんぽ握手会……！？」

964

965 困惑している感じで。

966

967 エ「出されたカンペとは言え……わたくし、なんて、お下品なことを
968 □走ってしまって……」

969

970 びっくりした感じで。

971

972 エ「ひゃあっ！？ 一番先頭にいるファンの方がズボン脱いでっ」

973

974 悔しそうに。迷っている感じで。

975

976 エ「くっつ……ファンのかたがたは操られてるだけで、悪くありませ
977 んもの……」

978 エ「魔法少女の力を使えば、たやすく払いのけられますが……」

979 エ「ですが……一般のかたに、この力、使えませんもの……!」

980

981 ○前面6―中、左を向いて

982 驚いている感じで。

983

984 エ「え、そのカンペ……ごくつ、一人一人に手コキだなんて……」

985

986 催眠で発情して声はずんでしまっている感じで。

987

988 エ「それに、わたくしが精液大好きに……そんなこと、ありえません
989 わ……」

990

991 ファンの一人目を手コキ開始。

992 とても嬉しそうに。

993

994 エ「ふー、ふー♡ 握ってしまいました……え、ええ♡ 応援ありが
995 とう」ざいますですわ♡」

996

997 催眠で発情して声はずんでしまっている感じで。

998

999 エ「もうこんなに硬くなつて♡ ぐくっ♡ こ、これは催眠洗脳で…
1000 …ああ、精液の匂いが♡」

1001 エ「でも、怪人のスキを窺がうためにも、ん、んんっ、続けないと、
1002 はあ、はあっ♡……はあ、はあっ♡……ああっ♡！」

1003

1004 驚いているけどとても嬉しそうな感じで。

1005

1006 エ「射精していますわ♡ びゆるびゆると、気持ちよくお射精されて
1007 ……んっ♡ ふあ……手袋どろどろですわ♡」

1008

1009 嬉しそうに。

1010

1011 エ「満足ただけで、よかったですわ……はあはあ、案外、すぐに射
1012 精していただけますのね♡ これでしたら、楽勝ですわ♡ あ
1013 んっ、またあ、お射精なさって」

1014 エ「もう少し、頑張つて、あぶ、んぶう、くださいませえ♡」

1015

1016 発情して息が荒くなっている感じで。

1017

1018 エ「はあはあ、精子の匂いがとっても臭いですわ♡ こんな臭いの
1019 ♡ わたくし……」

1020

1021 ○前面6―中、左を向いて

1022

1023 エ「あ、この大ジョッキに受けて、溜めていくんですのね」

1024 エ「あん、あんっ、すっごい勢いでお射精なされてえ、」

1025

1026 完全に発情している感じで。

1027

1028 エ「はふ、あふう、みるみるうちにい、おジョッキにどろどろのお汁
1029 が溜まっていきますわね、んふう♡」

1030

1031 ファンに群がられる。

1032 嬉しそうに。

1033

1034 エ「ひゃっ♡ 列は守ってくださいまし♡ もうっ、皆さんオチンポ
1035 を好きなところに擦り付けて♡ 仕方ないですわね♡」

1036 エ「せめて両手でシコシコ♡ して差し上げますわ♡」

1037

1038 ちょっと困ったように

1039

1040 エ「あぶ、んぶう、もう、顔ではなく、ちゃんと、この中に出してく
1041 ださひませえ、んふ、はふう♡」

1042

1043 完全に発情している感じで。

1044

1045 エ「手も、腕も、顔もお、どろっどろのせーえきれえ、でろでろです

1046 のお、はあ、はあっ……」

1047 エ「あ、大丈夫ですわ♡ 緊張なさらないで、シコシコ、シコシコシ
1048 コっ、わたくしの指先のいやらしいテクれえ、リラックスなさっ
1049 て、んん、んんっ、ご自身で腰をお振りいただいて、構いませ
1050 んわ♡」

1051 エ「それ、それぞれ、んんっ、さ、出してくださいませんっ♪」

1052

1053 とても嬉しそうに。

1054

1055 エ「あぶ、んぶう、んぶふっ、おジョッキになみなみと溜まってきま
1056 したわ」

1057 エ「わたくしの脇に二つ、んんっ、おっぱいにも、」

1058

1059 フェラしている感じで。

1060

1061 エ「うぶ、はぶう、お口もどうぞお、んぶう、ちゅぱちゅぶ、わたく
1062 しこんなにいっぱいファンのチンポと精子にまみれてう、ちゅ
1063 ば、ちゅぶちゅぼ、んちゅぶう、んぶぶう♡」

1064

1065 顔に向かって大量の白濁液をぶっかけられた感じで。

1066

1067 エ「あぶ、あぶぶっ、んんぶう、んんんっ……」

1068

1069 完全に発情している感じで。

1070

エ「精子の匂いだけで♡ イっちゃう♡」

1071

エ「んん、んんぶう、目の前、真っ白れえ……はあ、はあ、ザーメン

1072

で溺れてしまいそうれすのお……♡」

1073

エ「なんて濃厚なせーしなんでしょう♡ もっといっぱいいっぱい

1074

お出しになって♡」

1075

エ「はあ、はあはあ、こっちにもあっちも、たくさんお勃起い、素敵

1076

ですわ♡ オチンポ林に包まれて、あふ、はふう、せーしの濃厚

1077

な匂いで、酔ってしまっておりすの♡」

1078

エ「ううつ、特製のザーメンジョッキにも、すごい量、溜まってます

1079

わ」

1080

エ「白くて、ねっとりしたおザー汁う、はあ、はあっ……くうツ……

1081

きつつい匂いが、たまりませんことよ……♡」

1082

1083

○前面6—中

1084

驚いているけど少し嬉しそうに。

1085

1086

エ「ま、またカンペですの……まさか、そんな……♡」

1087

エ「『精液大好きなエリリンが笑顔で百人ぶんのザーメンをジョッキ

1088

で美味しく飲み干す』だなんてえ……」

1089

1090

嬉しそうに。

1091

1092

エ「ううつ……手が勝手にジョッキを……仕方ありませんわ……」

1093

1094 エ「やればよいのですわよね……ふう、ふうっ……♡」

1095 エ「ううつ、栗の花の匂いなんてレベルでは、ありませんわね」

1096 エ「溜めこんだギトギトの童貞ザーメンを濃縮したような……はあ、
1097 はあっ……」

1098

1099 快感でいきそうに。なってる感じで。
1100

1101 エ「これを皆さんの目の前で♡こんなに臭いの♡ どろどろで
1102 絶対人が飲むものじゃないの♡」

1103 エ「これは催眠のせいですよ。そうじゃなきゃこんな美味しそうだ
1104 なんて♡ 精液のぷりぷりの感触を想像するだけでいきそうだ
1105 なんて♡ 思ってるわけでは……♡」
1106

1107 リアル寄りの演技ではなくて可愛い感じで。
1108

1109 エ「すーはー♡ すーはー♡……い、いきますわ……んっ♡……ん
1110 んっ……ぐく、ぐくっ、じゅるっ♡ ずりゅりゅっ♡ ぐきゅっ
1111 っん、んん”っ♡……んぶはあゝっ♡」
1112

1113 困惑している感じで。
1114

1115 エ「あ、あれ、美味しいですわ」

1116 エ「こんな美味だなんて、ああっ、ダメだとわかっていながら、」
1117

1118 美味しそうに。飲んでいる感じで。

1119

1120 エ「ぐくっ、ぐくぐく、んくくっ……♡」

1121 エ「うっっ、どうしましょう……んくんく、んくっ、あふう……どん

1122 どん飲んでしまつてえ止まりませんわ♡ ぐくぐく、ぐくくっ

1123 ……」

1124

1125 けぷつも可愛い感じで。

1126 ○前面6―近

1127 とても嬉しそうに。

1128

1129 エ「ふー、ふー♡……けぷっ♡ ……はあ、はあ♡ 喉の奥までせー

1130 しの匂いで、なんでこんな美味しい……いいえ、いいえ、こんな

1131 下品なせ、せーし♡」

1132

1133 ちよつとイッてしまった感じで。

1134

1135 エ「美味しいなんてなんて下品な催眠なんでしょうか。んあっ♡」

1136

1137 とても美味しそうに飲んでいる感じで。

1138

1139 エ「けど、んぐ、んぐんぐ、ぐくぐく……」のナマっぽろろ

1140 の喉越しに、ねつとりと絡みつきながら、」

1141

1142 ちよつとイッてしまった感じで。

1143

1144 エ「んあつつ♡……はあ、はあ♡ い、イってなんかいませんの
1145 よー？ んんっ♡」

1146

1147 とても美味しそうに飲んでいる感じで。

1148

1149 エ「せーしに酔ってしまったみたい♡」

1150 エ「んんっ、ぐくぐく、ぐくんっ……んぷはあゝっ……♡」

1151 エ「ああっ全部飲んでしまいました。つく……こんな下品なものなの
1152 に、もつと、もつと飲みたいですよ」

1153

1154 ちよつと恥ずかしそうに。

1155

1156 エ「それもこれも、わたくしのせいではありませんわよ」

1157 エ「もつと、欲しいなんておもっちゃうのも♡ 体が熱いの♡」

1158 エ「あふ、はふう、なにもかも、催眠洗脳のせいですからあ♡」

1159

1160 シーン転換。

1161

1162 ○前面6—中、左を向いて
1163 息を荒くしている感じで。

1164

1165 エ「ぜえはあ、はあっ……♡♡」

1166

1167 困惑している感じで。

1168

1169 エ「え……また、催眠カンペ……」くっ……」

1170

1171 驚愕している感じで。

1172

1173 エ『特別企画、特濃エリリンちゃんに中出し抽選会』ですって……!」

1174 エ「ちよ、ちよっと、中出しって……か、勝手に決めないでください

1175 ませ……」

1176

1177 恥ずかしそうに。小声で

1178

1179 エ「確かに、オチンポ中に入れてないのは……その、物足りない、と
1180 ……」

1181

1182 我に返って大声で

1183

1184 エ「わ、わたくし何を言っ……て!? ええい、それもこれも全部催眠洗
1185 脳のせいですわ!」

1186

1187 気圧されている感じで。

1188

1189 エ「うっっ、会場の盛り上がり、すごい……」

1190

1191 やや諦めている感じで。

1192

1193 エ「はあはあ、こんなに皆さま、わたくしの中に出したいんですね

1194 ……それに、ルーレットまで持ち込まれて……」

1195 エ「あ……中出し抽選会ですのに、ルーレットの半分が中出しで、」

1196

1197 ○前面8—中

1198 困惑している感じで。

1199

1200 エ「もう半分が、ぶ、ぶっかけ……ですのっ……!?!」

1201

1202 慌てているけど半分ぐらい嬉しそうな感じで。

1203

1204 エ「だめですわ!?! さっきの精液大好きになる催眠がのこってる

1205 のに♡ こんなこんな……ああ、ファンの皆さん、あれだけお出

1206 しになったのにおちんちんをまたガチガチに勃起させてますわ

1207 ♡」

1208 エ「わたくし、ザーメン潰けにされてしまうって考えただけで♡ 下

1209 品、下品ですわ♡」

1210

1211 抑えているけど興奮し始めている感じで。

1212

1213 エ「あ……そんな……抽選会、始まってしまっ……」

1214 エ「ファンの皆さまがルーレットを回して……」

1215 エ「あ……いきなり、中出し挿入、当選ですね……」くっ……」

1216

1217 ○前面6―中、左を向いて

1218 嬉しそうなのが隠しきれない感じで。

1219

1220 エ「次々にぶっかけのヒトまで……いや、いやあ……そんなっ……!」

1221 エ「え、えっ♡ はずれのぶっかけの人が並んで……見抜き……パン
1222 ツを脱いでこ、こうです?」

1223

1224 パンツにぶっかけ。

1225 うっとりとした感じで。

1226

1227 エ「ひゃっ♡ あっっ♡ 2回目なのに濃いせーし♡」

1228 エ「うっっ、1回ぶっかけたら、また再抽選だなんて」

1229

1230 嬉しそうなのが隠しきれない感じで。

1231

1232 エ「そんなあ、全員に回されること確定ですわよね……それっ……」

1233 エ「しかも、こんなに多くのファンから……うっっ……わたくし、い
1234 ったいどうなってしまったのでしょうか……♡」

1235

1236 完全に発情しちゃってる感じで。

1237

1238 エ「……はあ、はあ、いやらしい精液の匂いで、頭がくらくらしてえ、
1239 なにもかもどうでもよくなってきた……」

1240 エ「あ、ああつ、さっそく当選者のオチンポお……」

1241

1242 仰向けで挿入。

1243 快楽に震えている感じで。

1244

1245 エ「お、おお、おっおおっ……奥にぶち込まれましたのお……♡」

1246 エ「ぶつといので、おまんこぐちゅ混ぜええ……力が、あん、あんあ
1247 ん、入りませんの……♡」

1248 エ「ふひ、くひい、お勃起の抜き差しい、すくっくれえ、さすがはわ
1249 たくしのファンですの♡」

1250 エ「お、おお、おほお、あそこがめくれてえ、内側のヒダヒダあ、見
1251 えてしまってますの、おひ、ほひいッ……」

1252

1253 困惑している感じで。

1254

1255 エ「しかも、んい、んいい、ちょ、ちょっと、そのかた、わたくし
1256 の自慢の髪で、何を……ー?」

1257 エ「ああ、セットしたドリルロールはそんなことに使うためでは!？」

1258

1259 イってしまっている感じで。

1260

1261 エ「下品な髪コキい、やめてえッ……ひい、ひいんッ……♡」

1262 エ「あぶ、はぶう、んんっ、髪も顔も、ザーメンで、ドロドロです
1263 のに、どンドン、ぶっかけされてええ……」

1264
1265 顔に大量に白濁液をぶっかけられている感じで。

1266
1267 エ「んん、んんぶ、うぶうッ……」

1268
1269 イってしまっている感じで。

1270

1271 エ「こんなの気持ち良すぎてイッてしまいますわっ♡♡♡」

1272 エ「あ、ああ♡ お出しなれましたの♡ びくびくっ♡ 子宮に
1273 あっつい精子が流れ込んできますわ♡」

1274

1275 ○前面6—中

1276 嬉しそうな感じで。

1277

1278 エ「い、いき顔を褒められましても♡」

1279

1280 困惑しながらも感じている感じで。

1281

1282 エ「あんんっ、そんな次のお勃起い、挿入されて、ふひ、くひい、あ
1283 んあんあん、いきなり激しいピストンっ、あ、あう、あうあ、不
1284 意打ちはらめえ、らめですのお♡」

1285 エ「んあ、んあああっ♡ んっあああ——ッ♡♡」

1286 エ「わたくしとセックスがつ♡ 夢でしたって♡ 複雑な……あ、あ
1287 つ♡ 心境ですが♡ んんうっ♡」

1288
1289
1290 イきっぱなしになってる感じで。

1291 エ「腰打ちつけるみたいに♡ 戦闘員より激しい♡ んおお♡♡」
1292 エ「墮落エナジীর回收を阻止しないといけませんのにー？ おほ
1293 つ♡ んん”っ♡」

1294 エ「あ、あ♡ あああっ♡ イきまくっちゃってますわ♡」
1295 エ「奥も手前も、わたくしの感じる場所に、くださいませ♡」
1296 エ「ああ、ああお、ああうんッ……おっおお……もう限界いい……お
1297 まんこ、きもちよぐっでえ……高いのが来てしまいます♡」

1298
1299 快楽に飲まれて自分から求めていく感じで。
1300

1301 エ「ファンチンポ気持ち良すぎですわ♡ もっと、もっと来てくださ
1302 いまし♡」

1303 エ「ぶっかけのみなさんもいっぱいばいどろどろのせーしでわ
1304 たくしを応援してくださいいいっ♡♡♡……」

1305
1306 エ「おほっ♡ んお♡ 生出しせーし凄いい♡」
1307 エ「子宮が溺れてしまいますわ♡」

1308 エ「ファンのせーしで溺れいきしっちゃいますわああっ♡♡♡……」

1309

1310 シーン転換。

1311

1312 ○前面6—中

1313 イき果てたあとで息も絶え絶えになっている感じで。

1314

1315 エ「はあ、はあはあ、皆さんの応援せーし中にも外にもいっぱい頂き
1316 ました♡」

1317 エ「んひっ♡ ファンチンポ中毒になりそうですわあ……♡」

1318

1319 ■シーン4

1320 ○前面6―遠

1321 堂々とした感じで。

1322

1323 エ「おーほっほっほー！」

1324 エ「今日は『負けたら魔法少女引退、催眠洗脳ちんぽ1本勝負』です
1325 わー！」

1326

1327 勝ち誇ってる感じで。

1328

1329 エ「……何度やっても、わたくしには勝てないと、思い知らせてあげ
1330 ますのー！」

1331

1332 困惑している感じで。

1333

1334 エ「んん……あれ……なにか、おかしい気がしますわね……ですが、
1335 まあ、気のせいでしょう……わたくし、あなたに何回も負けてい
1336 る気が……」

1337 エ「いえ、おそらくは、気のせいですわ……いくら催眠洗脳の得意な
1338 怪人でも、今までの記憶を書き換えるなんて、そんなこと魔法少
1339 女から大量に堕落エナジーを回収でもしない限り不可能でも
1340 のね……あれ？」

1341

1342 ○前面6―中

1343 堂々とした感じで。

1344

1345 エ「ともかくつ、あなたたちの墮落エナジー回収計画なんて下賤な企
1346 み、わたくしエリート魔法少女ブリリアント・エリリンが完膚な
1347 きまでにたたき折って差し上げますわ！」

1348

1349 素に戻った感じで。

1350

1351 エ「ん、なんですの、そのカンペは？」

1352 エ「『ルール・ヒロインが10回イクか、怪人側が10回射精で試合
1353 終了』」

1354

1355 勝ち誇ってる感じで。

1356

1357 エ「ふふつ、要は相手に十回勝てばOKですね」

1358 エ「もちろん受けて立ちますわよ」

1359

1360 戦闘員が男性器を目の前にもってくる。

1361 ○前面6—中、右を向いて

1362 嬉しそうに。

1363

1364 エ「あんっ、おバカな戦闘員」

1365 エ「さっそくお勃起をわたくしの前に差し出してくるなんて、はあは

1366 あ、飛んで火にいる夏の虫、ですわ♪」

1367

1368 パイズリ開始。

1369 楽しそうな感じで。

1370

1371 エ「わたくしの爆乳で挟みこんで、そらそらっ、いっぱいスリスリ、

1372 シコシコいたしますの」

1373 エ「んっ、もうお勃起がビクビクして、くっさい精液♡ わたくし

1374 のぱいずりで無様にお射精しなさいな♡」

1375

1376 勝ち誇ってる感じで。

1377

1378 エ「んっ♡ なんて下品なお射精ですこと♡」

1379 エ「んふふっ、これで、まずはわたくしの勝利ですわね」

1380

1381 ○前面6―近、右を向いて

1382 嬉しそうな感じで。

1383

1384 エ「次は……三人同時ですね、ごっくっ」

1385 エ「おーほほほっ！ 手間が省けてよろしいですわ♡」

1386

1387 戦闘員の一人を押し倒して騎乗位の体位に。

1388 だんだん発情して息が荒くなっている感じで。

1389

1390 エ「すーはー♡ すーはー♡ 雑魚戦闘員のくせになんて凶悪な才

1391 チンポなんでしょう♡ これはわたくしのおまんこできっちり
1392 搾り取ってあげませんとっ♡」

1393
1394 左右の戦闘員を手コキ。
1395

1396 エ「んっ♡ んふっ♡ 残りの二人は両側につ♡ 取り囲んだつもり
1397 です？ 逆にこうやってわたくしのおてで♡ 相手してあげ
1398 ますわ♡」

1399
1400 ○前面6―近、後ろを向いて
1401

1402 エ「んぶ、はぶう、顔にオチンポ押し付けて雄臭い攻撃♡」
1403 エ「はあはあ、この匂いに熱い感触う♡ んちゅ♡ これぐらいでエ
1404 リート魔法少女ブリリアント・エリリンを倒せると♡ んおっ
1405 ♡ □上の最中で突き上げは♡ んひいつ♡ 連携3本同時攻
1406 めは♡ あ♡ あっ♡ あああ♡」

1407 エ「おほっ♡ んほおっ♡ お猿さんのように腰を♡ これ、ぐらい
1408 で♡ んおっ♡ わたくしが♡ んひっ♡……はあ、はあっ♡」

1409
1410 フェラ開始。

1411 ○前面6―近

1412
1413 エ「んちゅっ♡ わたくしも負けていられませんか♡ 腰と竿こき
1414 に加えて吸い付きフェラもサービスしてあげますわ♡」

1415

1416 イきそうで慌てている感じで。

1417

1418 エ「んんっ♡ んぶっ♡……はっ、はっ♡……なかなか耐えますね…

1419 …ちゅっ♡ ちゅぱ♡……こんなにくっさいお汁出してますの

1420 に♡……んおっ♡ まだ早く♡……ち、乳首とクリトリス摘むの

1421 は♡ ダメですわ♡！?」

1422

1423 ○前面6―近、右を向いて

1424

1425 エ「お、お♡ おお、っ♡ この雑魚戦闘員達いつ♡ わたくしの弱

1426 点っ♡ 全部知ってるのですの！?」

1427

1428 イッてしまった感じで。

1429

1430 エ「無理、無理、むりいですわあゝッ……おっほおおお——ッ

1431 ♡♡♡……!」

1432

1433 息を荒くしている感じで。

1434

1435 エ「はあ、はあ♡……早速、追いつかれてドローですわね。はあはあ、

1436 ですが、負けませんわ」

1437

1438 勝ち誇ってる感じで。

1439

エ「イって締まったおまんこで、それぞれっ、このお勃起も道連れで
すの♪」

1442

完全に発情してイッてしまっている感じで。

1443

完全に発情してイッてしまっている感じで。

1444

エ「両手の射精寸前チンポもトドメですわ♡ んあっ♡ あっいの
来ました♡ ひぐうつ♡♡♡……!」

1447

嬉しそうな感じで。

1448

嬉しそうな感じで。

1449
エ「んっんっ、はあはあ、くっさいミルク噴き上げてえ、」

1450
エ「三本同時射精、させてあげましたわよ」

1451

やや小声で最後は嬉しそうに。

1452

1453
エ「え……ま、まあ、わたくしももう一回行ってしまいましたが……」

1454
だって、あんなくっさい精液中出しされたら♡」

1455

息が荒くなっている感じで。

1456

1457
エ「ふう、ふうっ、まだまだわたくしが有利ですよ……イっておま
んこ、敏感になっておりますが、我慢できますわ♪」

1460

んこ、敏感になっておりますが、我慢できますわ♪」

1461

1462

1463 ○前面6—中

1464

1465 エ「あ……なにをなさって…？」

1466

1467 慌てている感じで。

1468

1469 エ「カンペを書き換えるのは、卑怯ですわ！」

1470 エ「堂々と勝負なさいっ！」

1471

1472 困っている感じで。

1473

1474 エ「催眠カンペの使用は禁止されていませんが、ですが……あ、ああ
1475 つ……」

1476

1477 驚いている感じで。

1478

1479 エ「わたくしのドリルロールが、おまんこ並みの感度に……」

1480 エ「そんなバカなこと……あん、あんっ……まさか、これ……」

1481

1482 イきそうに。なって耐えている感じで。

1483

1484 エ「髪の毛あたりがぞわぞわして、はあ、はあッ……♡」

1485 エ「わたくしの髪が揺れるだけで、はふ、あふう、変な感じですよ…

1486 ……あう、あうう……」

1487

1488 戦闘員が両側に立って男性器に髪を巻き付けてしぐく。

1489 快感に流されそうなになっている感じで。

1490

1491 エ「しかも、両側から、ふう、ふうっ……そんなぶつといオスマラあ、

1492 お、おお、ロールの中に、おっおお、突っ込まないで、おふ、お

1493 ふお、おほおお……」

1494 エ「頭の両脇におまんこ二つあるみたいでえ、ほお、ほおお、脳みそ

1495 お、ぐちゅぐちゅされてるみたひい♡」

1496 エ「こんなの無理、無理い、耐えられるわけえ、ないですのおッ♡」

1497 エ「んお、っ♡ お、♡ お、♡ おひいっ♡♡♡……」

1498

1499 シーン転換。

1500

1501 フェラ中。

1502 ○前面6ー近、右を向いて

1503 フェラしている感じで。

1504

1505 エ「じゅぼ、じゅぽっ♡……んふっ♡……ふー、ふー♡……」

1506 エ「じゅぼ♡ じゅぷ……じゅるる♡ んぶぶうッ♡」

1507

1508 フェラしながらイっている感じで。

1509

1510 エ「んっ♡ んん、っ♡ ん、っ♡——♡♡♡……」

1511

1512 落ち込んでいる感じで。

1513

1514 エ「けっぷ♡ 深くにも喉奥まで絡みつくどろどろザーメンでイカ

1515 されるなんて……わたくし、もう六回も、イってしまいましたわ

1516 ……」

1517

1518 困惑している感じで。

1519

1520 エ「このままではいつもみたいに墮落エナジーを……あれ、あれ？」

1521

1522 堂々とした感じで。

1523

1524 エ「まあいいですわっ、戦闘員の皆さまも六回、これでイーブンっ！」

1525 エ「わたくしも余裕がありませんが……とにかくっ、皆さまがたをあ

1526 と四回射精させられればっ、わたくしの勝ちですわー！」

1527

1528 ○前面6—中

1529

1530 エ「あ……んふふっ、怪人がチンポ露出して、迫ってくるとは」

1531

1532 勝ち誇ってる感じで。

1533

1534 エ「催眠カメラ男、焦りが見えますわね」

1535

1536 怪人に押し倒される。

1537 困惑している感じで。

1538

1539 エ「つて、あぶうツ……な、なにをなさるんですか？」

1540

1541 驚いている感じで。

1542

1543 エ「いきなりっ……あううつ……」

1544

エ「くっ……こんな不覚ですわ……」

1545

エ「わたくしが、力負けして、押し倒されるなど……」

1546

1547 ○前面6―近

1548

1549 エ「ひいんっ、な、なにを近づけて……いや、いやあッ……」

1550

1551 倒れたヒロインの顔に怪人が金玉を押し付けプレスする。

1552

1553 エ「股間を、汚らわしい玉々を、わたくしの顔に……」

1554

1555 あまりのことにもがいている感じで。

1556

1557 エ「んい、んいいつ……押し付けないでえ……んぐ、はぶう……ん、

1558

っー？、んん、うつ♡ー？、ちんぽくさっ……ふー♡ ふー♡」

1559 エ「ん、おっ♡ 男の玉袋をわたくしの高貴な顔面に、はぶ、うぶう
1560 ……んぶ、えぶう、くっ、くさいい……♡」

1561
1562 嫌がっていたのがだんだん抵抗がなくなつて興奮していく感じ
1563 で。

1564
1565 エ「ふう、ふうっ……こんな辱めえ、ありえませんが……はあ、は
1566 あ、なぜだか興奮してしまつて……すゝ、はゝ♪」

1567 エ「あふ、はふ、すゝはゝ、すゝはゝ、」

1568
1569
1570 困惑しているけどやや嬉しそうな感じで。

1571 エ「ドスケベな深呼吸、止まりませんの……♡」

1572 エ「この強烈なオス臭い、くふ、んふう、せーしの匂いいい、クセに
1573 なつてしまつて、はあはあ、たまりませんの……」

1574
1575 完全に興奮して匂いの虜になっている感じで。

1576
1577 エ「くんくん、すんすん、つい嗅いでしまつて、はあはあ……んぶう、
1578 玉袋、押し付けられて、ぐ、ぐぐっ……」

1579 エ「臭いですが♡ 金玉プレスなんてこんなオスの一番くっさい場
1580 所をお鼻にこすりつけて念入りにマーキングするなんて♡ す
1581 ゝはゝ、すゝはゝ♪ 最低で最悪でとっても下品ですが♡ す
1582 ゝはゝ、すゝはゝ♪」

1583

1584 ヒロインの顔から怪人が退く。

1585 ○前面6―中

1586 拒絶するような口調で。

1587

1588 エ「はぁ、はぁ♡……こんな汚らしい技で、わたくしが屈すると思
1589 うのですか?」

1590

1591 凶星をさされて慌てている感じで。

1592

1593 エ「え、チンポがん見して緩みきった顔で自分からお股を開いておね
1594 だりポーズ決めて言うセリフじゃないですって……こ、これは
1595 決して金玉プレスでオス臭に鼻の奥まで犯されて……匂いだけ
1596 でいく寸前のおマンコが脳みそに直結しておチンポのことしか
1597 考えられなくなっているわけでありませんのよ」

1598 エ「そ、そう、防御を捨てて捨て身の作戦ですの。わたくしのロイヤ
1599 ルおマンコに入れたら最後……三擦り半で全部のザーメン搾り
1600 取って見せてあげますわ♡」

1601

1602 怪人が男性器を挿入。

1603 ○前面6―接

1604 急な快感に喜び驚いている感じで。

1605

1606 エ「お、っ♡ おお、っ♡ ふっといですわ♡ ぅっぅっでとっても

1607 硬いですわ♡」

1608 エ「おおっおお、っ♡ 一気に奥までえ、ふぐうつ♡ らめえ…ッ…
1609 …♡」

1610 エ「雑魚戦闘員のと比べ物にならないオスマラチンポ♡ んお、っ♡」
1611

1612 快感を耐えようと必死になっている感じで。
1613

1614 エ「フー、フー♡ しかし、ここで耐えっ…はあ、はあっ♡ 耐え
1615 ないと」

1616 エ「わたくしはエリート魔法少女ブリリアント・エリリンっ。下々の
1617 皆さんをまもっ、んひいつ♡ 守るのが使命ですよっ！」

1618 エ「こんな、んお♡ こんな怪人チンポにっ…んおおっほ♡ ふー、
1619 ふー♡…負けるわけにはっ！」

1620

1621 ○前面6―近

1622 素に戻った感じで。

1623

1624 エ「えっ…それは、催眠カンペっ…『隠すこと無い素直な心の声』
1625 ですって、そんなこと…」

1626

1627 慌てている感じで。

1628

1629 エ「んうつ♡ □がっ…だめですわ!？」

1630

1631 強がっている感じで。

1632

1633 エ「わたくしが金玉プレスで怪人チンポにわからせられてメス墮ち
1634 ぎりぎりのところまできてることをなんとか魔法少女の意地で
1635 保ってるなんて、今でもこのぶつとくて熱くて硬いオスマラチ
1636 ンポで子宮をごりごり攻撃したらどんなに気持ちいいか想像
1637 してるなんて、んぐっ!?!」

1638

1639 慌てている感じで。

1640

1641 エ「言いたくなのに、口が勝手に……くうツ……!」

1642

1643 やや嬉しそうな感じで。

1644

1645 エ「周囲を囲んでる雑魚戦闘員チンポにザーメンぶっびゅぶゆ浴
1646 びせかけられたこと思い出してよだれが止まらないことも、あ
1647 あ♡」

1648

1649 だんだん発情して息が荒くなっている感じで。

1650

1651 エ「おっぱいも乳首もクリトリスも皆さんの手で思う存分弄り倒し
1652 て穴という穴にあふれるぐらいくっさい白濁液を注ぎ込んでも
1653 らって♡」

1654

1655 エ「墮落エナジーをお下品に放出しちゃうまで敗北快樂を教えこん
1656 でほしいなんてっ♡」

1657
1658 完全に発情したこびた声で。
1659

1660 エ「あんんっ……いや、いやあ、そんな……言ってしまいました♡
1661 あ、あ♡ 本心ですわ♡ ふー、ふー♡ 中に入っている怪人チ
1662 ンポ様が更におつきくなってますわ♡ 戦闘員チンポ様もすっ
1663 ごくオス臭撒き散らして♡ あ、あ♡」

1664

1665 ○前面6―接

1666

1667 とても美味しそうに。飲んでいる感じで。

1668

1669 エ「んお、♡ 催眠カメラ男様の腰振り激しい♡ お、おお、おっ
1670 おお、♡」

1671 エ「負けちゃう♡ ひうつ♡ 弱点の子宮をオチンポ様で潰されて♡
1672 お下品な喘ぎ声出ちやいますわ♡ んおお、っ♡」

1673

1674 快樂に流されて止まらなくなっている感じで。
1675

1676 エ「ひいっ♡ んひいっ♡ お尻い、指でオチンポでおもちやで♡
1677 ぐりぐりいじられるの大好きですわ♡」

1678

1679 周囲の戦闘員が髪や口、おっぱいや手に男性器をこすりつけて
1680 くる。

1681
1682 エ「んおお”っ♡ え、ええ♡ おマンコ化した髪でチンポこき最高
1683 ですわ♡ 頭の中までチンポでいっぱいにしていただけるなん
1684 て♡」

1685
1686 連続でイッている感じで。
1687

1688 エ「おほおっ♡ イきます♡ んお”っ♡ イ”ぐうっ♡♡♡……!」
1689 エ「全身おちんぼ様に責められてイっちゃいますのおおお”っ♡!」
1690 エ「ほっおお” おおお——ッ♡♡」

1691
1692 周りが射精。
1693

1694 エ「い、イ”っでええ、んっぶ♡ くっさいお精子ぶっかけでまた、
1695 イ”ぐうんッ♡」

1696 エ「おっ♡ んおっ♡ んおっお”♡♡♡……!」

1697
1698 ○右耳9―接

1699 イきすぎておかしくなっている感で。

1700 エ「催眠カメラ男様の体をひぎ、ふぎい、潰すみたいなピストンプレ
1701 スう、」

1702

1703 種付プレス。

1704

1705 エ「すごすぎてえ、またあ、イ”グうんツ♡」

1706

1707 場面転換。

1708

1709 怪人は挿入中。

1710 ○前面6―近

1711 イッたあとで息も絶え絶えになつてる感じで。

1712

1713 エ「はあ、はあ♡……ううつ、追い込まれましたわ……」

1714

1715 とても嬉しそうな感じで。

1716

1717 エ「あと、一回イってしまったたら、わたくしの敗北ですわね♡」

1718 エ「あ……また、カンペを……この期に及んで、卑怯ですわ♡」

1719 エ「『最後に一突きされたら激しくイっちゃう』ですって♡」

1720

1721 ○前面6―接

1722 いやらしい顔でおねだりしている感じで。

1723

1724 エ「そんな事……そんな催眠されちゃったら♡ もう本当に欠片

1725 しか残ってないわたくしの尊厳なんて簡単に折れて♡ はあ、

1726 はあ♡ なんの遠慮もなく♡ 無様なイキ顔晒してしまします

1727 わ♡」

1728

1729 エ「せっかく、ここまで耐えてきたのに♡ もう魔法少女として耐え
1730 るひつもなくなつて♡ はあ、はあ♡ わたくし、おちんぼ様を
1731 ねだって射精してもらうのが喜びのただのお下品なメスになっ
1732 てしまいますわ♡」

1733

1734 ○前面6―近

1735 我慢できないって感じで。

1736

1737 エ「ふー、ふー♡ ああ、怪人チンポ様がゆつくり引き抜かれて♡
1738 はあ、はあ♡」

1739

1740 怪人が男性器を奥まで一突きする。

1741 嬉しそうに。イッてる感じで。

1742

1743 エ「んお、っ♡ 来た♡ 来ましたわあ♡ おほっ♡ 押し潰すよう
1744 な最後の一突きい♡ あ、あっ♡、んああああ”♡ 今まで一番
1745 激しくイッちやいますううつつ♡♡……!」

1746

1747 中出し十ぶっかけ射精。

1748

1749 エ「んひいつ♡ おおお、 お精子♡ いっぱい♡ くさくてどろど
1750 ろでお下品な精子♡ 外にも中にもいっぱいこちそうしてくだ

1751 さいまじいつ♡♡♡……!」

1752 エ「はっ♡ はっ♡ はひっ♡ エリート魔法少女ブリリアント・エ
1753 リリン♡ 敗北♡ 怪人催眠カメラ男様のおちんぽに10回♡
1754 あれ、20回でした？ はひっ♡ またいったあ♡ ともかく、
1755 イきまぐられて♡ 敗北しました♡」

1756
1757 連続イキしている感じで。
1758

1759 エ「んお、っ♡ んおっほお♡」
1760 エ「お下品ちゃんぽ良すぎて、イグのツ、とまりやないいつ
1761 ♡♡♡……!」

1762 エ「ブリリアント・エリリン、完全敗北うで」ざいますわ♡」
1763
1764 とても嬉しそうに。
1765

1766 エ「すゝい、すゝしゅぎれすわっ♡ ひいつ♡ んひいつ♡ おちん
1767 ぽいっぱい♡ 墮落エナジー回収されるの気持ちいいですわ
1768 っ♡」

1769 エ「はひっ♡ 催眠カンペどおりにちんぽと白濁液まみれで無様に
1770 ダブルピース♡ ですよ♡」

1771
1772 最後に激しくイッてる感じで。
1773

1774 エ「お、お、おお、おッ おちんぽ様におまこセックスでイカされて

1775 る元魔法少女のお下品な姿♡ いっぱい撮って墮落エナジー吸

1776 い取ってくださいませ♡♡……!」

1777 エ「ほっお”おおおお——♡♡♡♡……!」

1778 ■シーン5

1779 椅子に座ってインタビュー中。

1780 ○前面6―遠

1781 嬉しそうに。

1782

1783 エ「うふふ、こちらがわたくしの学生書になりますわ。住所は、先程
1784 申しましたとおり。さて、次のインタビューはなんでしょうか？
1785 もっと下品な質問でもいいのですよ？」

1786

1787 艶っぽい表情で。
1788

1789 エ「ええ、ええ。もちろん、通学路でも自宅前でもお声をかけていた
1790 だいて問題ないですわよ。ファンサービスで手コキやフェラを
1791 してあげるのは当然のことですわ♡」

1792

1793 発情している感じで。
1794

1795 エ「オナニーの回数は……最近は授業中や街なかでどこまで見つ
1796 けずにいたせるかという隠れオナニープレイにはまってまして、
1797 日に3、4回つてところでしょうか。淫臭に気づかれた方の発情
1798 した顔がとっても素敵ですよ♡」

1799

1800 誇らしげに
1801

1802 エ「今日の魔法少女衣装ですか。とっても気合を入れてお手入れして
1803 きましたのよ。ふふ、記念すべき＼女優デビューの作品ですも
1804 の」

1805 エ「髪型も素敵なおロールを決めているでしょ？ 魔法少女の姿で怪
1806 人様や戦闘員様に思いつき汚してもらおうと思うと今からとって
1807 も興奮していますわ♡」

1808
1809 嬉しそうに。
1810

1811 エ「次が最後のカンペ質問ですわね。んふっ♪」
1812

1813
1814 ちょっと困ったように

1815 エ「え……わたくしの大好物はやっぱりオチンポか、ですって……」
1816 エ「そんな卑猥な質問をなさるだなんて」
1817

1818 後ろから戦闘員の男性器を出して見せつける。
1819

1820 ○前面6―中、左を向いて
1821 嬉しそうに。

1822 エ「あ、ああ、しかも、お勃起しきったオスマラあ、」
1823

1824 発情している感じで。
1825

1826 エ「お尻にすりすりしないで、くださいませ……ぜえはあ、はあ……
1827 ♡」

1828 エ「あふあ、んふう、んふあああ……♡」

1829

1830 ○前面6—中、右を向いて

1831 うっとりとした感じで。

1832

1833 エ「……お下品なちんぽなんて、もつてのほかですわッ……！」

1834 エ「だって、わたくしの膣に入れたら、ごりごりしちゃうドスケベち
1835 んぽ、見てしまったらあ……わたくしい……んっ、んんっ♡」

1836 エ「……ああ、この匂い、カタチ……おまたからよだれが止まらなく
1837 なって、え、見せてですって……」

1838

1839 ○前面6—中

1840 嬉しそうに。興奮している感じで。

1841

1842 エ「か、カンペに指示されてるなら従わないと、さっ、撮影ですから
1843 ……けどお、はあ、はあ……こんな恥ずかしいこと、他に「ざい
1844 ませんわ……♡」

1845 エ「ううっ……羞恥心、残ってたのですか、だなんて……失礼なこと
1846 を申しますのね……」

1847 エ「それに……ふう、ふうっ……恥ずかしいほうが、その……きっ、
1848 気持ちいいですも……あふ、はふう……たつぷりと辱められて、
1849 体の芯がぞくぞくするような感じい、」

1850 エ「ふうっ、ふうっ、最高なんですのよ♡」

1851

1852 ○前面6―近

1853 うっとりとした感じで。

1854

1855 エ「庶民には決して味わえない、上流階級から家畜以下の豚に墮ちる
1856 感じい、墮落エナジー、催眠洗脳えーぶい女優エリリンからいつ
1857 ぱい吸い取ってくださいましね♡」

1858

1859 本番開始。

1860 ○前面6―中

1861

1862 エ「んあ、んああ♡ 勃起ちんぽいっぱい……」

1863

1864 ○前面6―近

1865 完全に発情して息が荒くなっている感じで。

1866

1867 エ「わたくしの大好物のオスおチンポ臭、すーはー♡ すーはー♡
1868 豚のように鼻をこすりつけてメス媚、匂いオナするところきれ
1869 いに撮ってくださいね♡」

1870 エ「んぶ、くふう♡ はあ、はあっ……この素敵な匂いだけでも、イ

1871 ってしまいまそうですの……はあはあ、あ、もちろん、わかって

1872 おりますわ……」

1873 エ「こっやってスカートたくし上げて、おパンツが見えるように」

1874 エ「ガニ股に足開いて♡ 両手もあげて、ふぅ、ふぅっ……」

1875 エ「AV撮影のマナーですわよね、んふう♡♡」

1876 エ「お下品な脇見せポーズでえ♡」

1877

1878 ○前面6—中、右を向いて

1879

1880 エ「ちんぽに顔や胸をこすりつけるように、ぜえ、はあ、おねだりオ

1881 ナニードダンスを……」

1882 エ「んお、んおお、んおほおッ……とってもお下品で♡ 無様で♡

1883 羞恥心で興奮しちゃいますわ♡」

1884 エ「んっ♡ なんてお下劣なダンスう、くふ、んふう、」

1885

1886 ○前面6—中、後ろを向いて

1887

1888 エ「しかも正義の魔法少女スタイルで、これをするなんて……あふ、

1889 はふう……♡」

1890 エ「洗脳して頂く前の純真で高潔だったわたくしの気持ちを汚して

1891 いるみたいで、んあっ♡……たまらなく興奮しますのお♡」

1892 エ「こんな素敵な体験させてもらえるなんて♡ 催眠洗脳で墮とし

1893 て頂いた催眠カメラ男様には感謝していますわ♡」

1894

1895 ○前面6—中

1896 とても嬉しそうな感じで。

1897

1898 エ「あ……皆さんのおチンポ、ぎんぎんで限界みたいですわね♡」

1899 エ「破廉恥なおねだりい、はふ、あふう、したかいがございますわね
1900 ……ぐしよ濡れのシヨーツはそちらの戦闘員様に♡ チンポこ
1901 き用得ゝございますわ♡」

1902

1903 ○前面6―中、右を向いて

1904 完全に発情して息が荒くなっている感じで。

1905

1906 エ「あぁっ♡ 前にも後ろにも戦闘員様のおチンポ♡ 今からわた
1907 くし、サンドイッチのように挟まれて串刺しにされてしまうの
1908 ですね♡」

1909 エ「さ、皆さまあ、媚び媚びの恥知らずなドスケベ・エリリンを、め
1910 いっぱい犯してくださいませええ……♡」

1911

1912 挿入。

1913 快感で声を高くしている感じで。

1914

1915 エ「戦闘員様達の改造おチンポ♡ 子宮口と直腸、一気に奥までえ♡」
1916 エ「お、おお、おほおんっ♡ 足♡ 浮いちゃってますわ♡ んお”
1917 っ♡」

1918

1919 見せつけるように痴態を楽しんでいる感じで。

1920

1921 エ「はぁ、はぁ♡ んちゅっ♡ ちゅばっ♡ 舌まで絡めたディープ

1922 キスう♡ もっともっと、わたくしの体♡ 貪って、お使いにな
1923 って♡」

1924
1925 ○前面6―近、左を向いて

1926 エ「んおっ♡ お尻のお肉つかんで♡ すっごい腰使い♡ あんっ♡
1927 おっぱいも掴みごたえある下品な肉付きでしょっ♡」

1928 エ「おっ♡ おっ♡ んほっおっ♡ 膣をすり上げるおチンポとお
1929 けつの中ごりごり抜き差しされるおチンポ♡ 気持ちいいです
1930 わ♡ おチンポ最高ですわ♡」

1931 エ「わたくしの穴♡ おチンポよう便器穴です♡ もっといっぱい
1932 ズボズボ♡ ご使用くださいまし♡」

1933
1934 体位変更。

1935 ○前面6―中、後ろを向いて

1936 完全に発情して息が荒くなっている感じで。

1937

1938 エ「あんっ♡ んおっ♡ 今度は騎乗位ですわね♡ ふあっ♡ 皆さ
1939 んのおチンポが目の前に♡ 髪にもお手々にも脇にも♡」

1940 エ「はひっ♡ んひっ♡ くっさいおチンポ様がいっぱい♡」

1941 エ「んぶっ♡ へあ♡ チン先擦り付けありがとっ♡ぞいます♡ ん
1942 あっ♡……すんすん♡ んふっ♡ お汁でぬるぬるドスケベ淫
1943 汁パックですわね♡」

1944

1945 嬉しそうにフェラしている感じで。

1946

エ「ちゅぱちゅぱちゅぶちゅば、おフェラいたしまふう♡」

1948

完全に発情して息が荒くなっている感じで。

1949

エ「ぶっふあ♡……お、おおっ、おっおおっ、戦闘員様のバックと突

1950

き上げ同時ピストン攻撃しゅ♡ めちやくちやに、ほお、ほお

1951

お♡」

1952

エ「わたくしの弱点♡ パンパンパンってのースポットもアナルも♡

1953

壊れちゃいます♡ んお、っ♡」

1954

エ「お下品な嬌声止まりませんわ♡ おっ、おお、っ、おっおお、

1955

お、っほおんッ……いやらしく腰い、前後に振って、ケダモノの

1956

交尾い、してしまいますの♡」

1957

○前面6―接

1958

1959 うつとりとした感じで。

1960

1961 エ「目の前のビキビキにそり返った、このオチンポ♡」

1962

エ「催眠カメラ男様♪ あなたの怪人チンポですのね♡」

1963

エ「戦闘員様達のもご立派ですが、怪人おチンポ様は♡ はあ、はあ

1964

♡」

1965

エ「この逞しいそそり立ちっぶりいい……♡」

1966

1967 完全に発情して息が荒くなっている感じで。

1968

1969 エ「あふあ、あはああ、とってもゴージャスでスペシャルでエクセレ

1970 ントな、お勃起様ですわ♡」

1971 エ「こんなの負けて当然です♡ このおちんぼ様を入れられたら魔
1972 法少女なんて即堕ち♡ メス顔晒してしまいますわ♡」

1973 エ「すーはー♡ すーはー♡ なんてたくましいオスチンポ臭♡ も
1974 うよだれが止まりません♡ いいですわね♡ いいですわよね
1975 ♡ ハメ撮りご奉仕フェラ♡ おほっ♡ 下品に撮ってください
1976 いまっ♡」

1977 下品にフェラしている感じで。

1978

1979 エ「んぶ、んぶう、ドスケベにい、お下品に♡ 音を立てて喉奥ま
1980 で♡」

1981 エ「ぢゅぱ、ぢゅぶ、ぢゅばっ、ぢゅぶぼっ♡ いたひまふう♡」

1982

1983 とても嬉しそうな感じで。

1984

1985 エ「んんっ、わたくしの体でチンポこきして頂いてる戦闘員の方々も
1986 ラストスパートですね♡」

1987 エ「んぶ、はぶう、んっうっっ…♡ はあはあ、この日のために整え
1988 たドリルロール、氣に入っていただいて光栄ですわ♡」

1989 エ「んんっ、おちんちんシコシコ、先走りのお汁でいっぱい汚して♡、
1990 あん、あんあん、それも両方の縦ロールう、オナホみたいに使わ
1991 れてしますわ♡」

1992

1993 下品にフェラしている感じで。

1994
1995 エ「あぶ、はぶぶ、ちゅぼちゅば、お下劣すぎてえ、はあはあ、ます
1996 ます、感じてしまいますのッ……んぶっ、んぢゅばぢゅぶ、ぢゅ
1997 ぱぢゅぶぢゅぼッ、んぢゅぼぶっ♡」

1998
1999
2000 イきまくっている感じで。

2001 エ「んぶっ♡ ヤバイですわ♡ おほっ♡ んお”っ♡……おチンポ
2002 に囲まれてのおセックス気持ち良すぎですわ♡」
2003 エ「んぶっ♡ んっん”っ♡……じゅぽっ♡ ずじゅっ♡……もっ
2004 ともっと撮ってくださいまし♡」

2005 エ「おっほお♡ んお”っお”っ♡……わたくしのお下品なフェラ顔
2006 ♡」

2007 エ「イきますわ♡ イク♡イグイグう♡♡……！」
2008 エ「魔法少女でしたのに♡ 催眠洗脳の快楽に敗北して♡ んお”♡
2009 おマンコもお尻も♡ お口も♡ おチンポ様専用お便所穴にし
2010 ていただき♡ ありがとうございます♡」

2011
2012
2013 喉奥に突っ込まれて射精されてる感じで。

2014 エ「んぶっっ♡♡♡……！」
2015 エ「ん”ーっ♡……！ んっ♡ んぐっ♡……！」
2016 エ「んっおおおおおお——ッ♡♡♡」
2017 エ「あぶっ♡ んっ♡ ……んんんっ♡」

2018

2019 フェラ後口を離して。

2020 ○前面6―中

2021 イッたあとで息も絶え絶えになつてゐる感じで。

2022

2023 エ「はあ、はあ♡ こんなにいっぱいおし出して頂きお便器として
2024 光栄ですわ♡ んっ♡ 『ぎゅっ、ぎゅっ……ん、んっ♡ ぶ
2025 ふあっ♡ とっても臭くてわたくし♡ すーはー♡ すーはー
2026 ♡ 戦闘員様たちのぶっかけで髪も衣装もどろどろでご使用あ
2027 りがとうございます♡」

2028 男性器先にキス。

2029

2030 エ「んちゅっ♡」

2031 エ「尿道の残り汁、美味しいですわ♡」

2032

2033 うっとりとした感じで。

2034

2035 エ「ええ、もうすっかりザーメンの虜ですわ♡ ブランチはティーカ
2036 ップに射精してくださった精子をじっくり楽しみたいぐらいで
2037 すわね♡」

2038 エ「喉に絡みつく濃厚な味、鼻の奥まで犯しにきてるような下品な匂

2039 い♡」

2040

2041 軽くイッた感じで。

2042

エ「ああんっ♡……わたくしの二穴から、くふ、んふう♡」

2043

エ「おチンポ抜いてしまわれましたのね……んっ♡ ぶぴゅって2

2044

つの穴から精液吹き出して♡ もったいないですわ♡」

2045

2046

ねっとりとした感じで。

2047

2048

エ「んあっ♡ ふうっ♡ ふうっ♡ ぱっくり開いたお尻とおマンコ

2049

♡」

2050

エ「せっかくですからあ、いっぱい犯しぬいてくださったダブルドス
ケベおちんぽと一緒にカメラ視線で、」

2051

2052

2053

両側の男性器にキスしながら。

2054

とても嬉しそうな感じで。

2055

2056

エ「ピースしながら、ちゅば、ちゅぶ、んちゅば、感謝のお下劣キス
ですわ♡ んちゅぶちゅば、ちゅぶうっ♡」

2057

2058

エ「意識飛びそうれすけどお……ピース、ピースう♡」

2059

エ「はいいいっッ……チーズですわっッ♪」

2060

2061

カンペを見ながら。

2062

ねっとりとした感じで。

2063

2064

エ「はあ、はあっ♡……まあ、今度の指示は♡ そうなのですね♡」

2065

2066
2067

一度立ち上がる。

2068
○前面6—中

2069
とても嬉しそうな感じで。

2070

2071 エ「なんて最低な指示なんでしょう♡ わたくしドキドキでお股の
2072 よだれが止まりませんわ♡」

2073

2074 変身ポーズを撮って変身。

2075

2076 エ「……ではしっかり撮ってくださいね♡ 雌豚モード、んあっ♡
2077 変身ですわ♡」

2078

2079 変身後の姿を見せつけるように。

2080 ○前面6—中、クルッと回転しながら

2081 ねっとりとした感じで。

2082

2083 エ「鼻フックに、豚耳カチューシャ、紐付き首輪♡ ヌーブラは極小
2084 で勃起乳首も隠せてませんわね♡」

2085 エ「しかも、くふ、んふう、お尻に豚尻尾のアナルプラグまでえ、」

2086

2087 興奮で息が荒くなっている感じで。

2088

2089 エ「ふう、ふうっ……これは……完全に家畜う、無様な雌豚でござい

2090 まじょ♡」

2091

2092 ○前面6―近

2093

2094 エ「しかも四つん這いで、豚鳴きまで、ぶひ、ぶひっ、」

2095

2096 発情しながら嬉しそうに。

2097

2098 エ「させるなんて……こんな素敵な辱めえ、ありえませんが……それ
2099 に、コンドームみたいな、はあ、はあ、ピンクビニールのソック
2100 スと手袋のきつい締め付けに、ふう、ふうっ、いやらしいギチ音、
2101 たまりませんわ♡」

2102 エ「はぶ、くふう、これは……わたくしに、ぴったりなあ、雌豚コス
2103 チュームですこと♡ ぶひ、ぶひひっ、ぶひぶひっ♡」

2104 エ「はあはあ、はあッ……」

2105

2106 ○前面6―接

2107 完全に発情して息が荒くなっている感じで。

2108

2109 エ「下品なポーズで下品な声♡ 皆さんの劣情の目線♡ ああ、この
2110 姿を催眠カメラで撮っていただいてわたくしの卑猥な動画を全
2111 世界にばらまくんですわね♡ ゾクゾクして想像だけでイッて
2112 しまいそうになりますわ♡」

2113

エ「お願い……もっとお下品な声で、鳴かせてくださいまし……♡」

2138 獣みたいな喘ぎ声で。

2139

2140 エ「はひっ♡ んひいつ♡♡♡ お、おん、♡ お、っおん、っ♡」

2141 エ「豚のわたくしに、素敵なザーメンミルクの「ちそうですわ♡」

2142 エ「んおっ♡ おっ♡ おお、っ♡ ぶひいつ♡」

2143

2144 とても嬉しそうな感じで。

2145

2146 エ「え……そんな、お預けだなんて、あ、ああ、あっああっ、」

2147

2148 ○前面6―接、右を向いて

2149

2150 エ「こんなに激しくおまんこ突かれてえ、おふ、おふお、おほおんッ、」

2151

2152 嬉しそうに。発情した感じで。

2153

2154 エ「目の前にこんなくっさいザーメン♡ 雌豚用餌皿がありますの

2155 に♡」

2156 エ「はひっ♡ あひひっ♡、どうかあ、ぶひ、ぶひっ、ぶひひっ♡」

2157 エ「豚にプライドなんてありませんわ♡ ぶひっ♡ おひひ♡」

2158 エ「はあ、はあ、ありがとうございます。ぶひ、ぶひっ」

2159

2160 ○前面6―接、後ろを向いて

2161 下品に音を立てて囁るように

2162

2163 エ「ではあ、んれろ、れろじゅる、じゅるる、ぢうる、んれろろお、
2164 お皿に溜まったドロドロの生臭いせーしい、ぢう、ぢうるるッ、」

2165

2166 嬉しそうに。発情した感じで。

2167

2168 エ「くっさいですわ♡ お下品な味で♡ 雌豚にぴったりなご褒美
2169 ですわ♡」

2170 エ「んれろれる、れろろお、んぷはあゝっ……」

2171 エ「おいしゅうごゝいしましたあ……」

2172

2173 うっとりとした感じで。

2174

2175 エ「んぷっ♡ 熱々ザーメンのおかわりぶっかけ♡ すっごい匂い♡」

2176

2177 獣みたいな喘ぎ声で。

2178

2179 エ「あゝあ♡ あああっ♡ もっと、もっとわたくしにぶっかけてく
2180 ださいまし♡ ぶひひっんっ♡」

2181

2182 けっぷは可愛い感じで。

2183

2184 エ「……はひっ♡ けっぷ♡」

2185

エ「ふあ、はしたないザーメンゲップが出てしまいましたわ♡」

2186 エ「お、おお、おっおおっ、またあ、ピストン激しくなってえ、おん、
2187 おんおんッ♡」

2188 エ「ほお、ほおおんっ、肛門もズボズボっ、おふ、おふお♡」

2189 エ「おまんこ犯しながらアナルプラグ抜き差し、壊れてしまいます♡」

2190 エ「んお、♡、おほおッ♡、ほおん”ッ♡」

2191 エ「おっ、おっおっ、おおっ、二穴ズボズボっ、肛門が裏返って、ガ
2192 バガバあ♡ あへ、あへえ、あふええ、」

2193

2194 イきっぱなしになってる感じで。

2195

2196 エ「ハメ撮り交尾♡ すごすぎですのッ♡ んえ、んええ♡」

2197 エ「こんなの、もう限界いい……はお、はおう、はおおっ♡」

2198 エ「イグ、イグうう、思い切りアグメっちゃうのおッ♡」

2199 エ「さっ、最後は、変身ヒロインらしくう、」

2200 エ「んお、っ♡ んひっ♡ ぶひひいつ♡」

2201

2202 中出し＋ぶっかけ射精。

2203 獣みたいなイキ声で。

2204

2205 エ「メス豚声でイってしまいますわっ♡ ブヒッ♡ ブヒっ♡ ぶ
2206 ひひいいん”っ♡♡♡……!」

2207

2208 挿入は継続中、入れたまま怪人に抱きかかえられている。

2209

○前面6—中

2210 イッたあとで息も絶え絶えになつてゐる感じで。

2211

2212 エ「……あへ、あへえ……んええ……あふえ……」

2213 エ「はひいつ……んお……ふう、ふう……♡ 気持ち良すぎですのお

2214 ……♡」

2215 エ「イグのお……ふう、ふう……しゅ」しゅぎてえ……はあ、はあ

2216 ツ……体あ……う、動きませんのお……♡」

2217 エ「うつつ……そうですわ……あ、挨拶で」ざいますわね……せつか

2218 くのデビュー作ですもの……ふう、ふう……ぶひ♡ ぶひい

2219 つ♡ ぶひいつ♡……んひ、ふひい、はひいつ♡」

2220

2221 いやらしい笑顔で。

2222

2223 エ「お便器マ女優エリリンのデビュー作見てくれて、んお、んほお
2224 ♡」

2225 エ「ありがとうございます、」ざいますですわっ♡」

2226 エ「んお、♡ これならきつとたくさんの墮落エナジーとくっさい

2227 せーしを出してくれますね♡」

2228 エ「これからも下品でドスケベな演技でみなさんのオチンポを」

2229

2230 急な快樂でびっくりした感じで。

2231

2232 エ「ギンギンにして、どびゅどびゅっと又いて差し、おほっ♡ また

2233 ピストン早くなつて♡」

2234

2235 イきっぱなしになつてゐる感じで。

2236

2237 エ「お、っ♡ おお、っ♡ んおお、っ♡ さ、差し上げますからあ
2238 ……♡」

2239 エ「応援よろしくお願い♡ んおっ♡ んおほおお……」

2240

2241 アへ顔ダブルピースでイってゐる感じで。

2242 下品なイき声で。

2243

2244 エ「お、お、おッ、ザーメン中出しされてイきますわ♡ い、イグう、
2245 イグイグイグイグうですわ♡」

2246 エ「イ、っぐうううううっっっ♡♡♡……！」

2247 ■ シー
ンループ用

2248 ○前面6—中

吐息ゆつくりと。

2250

エ「はあ、はあ……はあ、はあ……はあ、はあ♡……はあ♡
はあ♡

2251
2252 ……はあ♡」

「……はあッ♡」

2253

吐息だんだん早く。

2255

2256 エ「はあ、はあ、はあ、はあ……はあ♡ はあ♡ はあ♡ はあ♡」
2257 ♡」

2258

息を荒くしている感じで。

2260

エ「フウ、フウ……フウ、フッ♡……フウ♡ フッ♡」

2262

2263
軽く感じてゐる感じで。

2264

2265
 工「あ、あつ、ああ♡……あ♡
 あつ♡
 あああ♡……あ、んあ♡——」

2266

強めに感じてゐる感じで。

2268

2269
「んっ、んっ……んおっ！ んっ♡ んん”っ♡……おほっ♡」

2270

2271 ○右耳6―近

2272 吐息ゆっくりと。

2273

2274 エ「はあ、はあ……はあ、はあ……はあ、はあ……はあ、はあ……はあ
2275 ……はあッ♡」

2276

2277 吐息だんだん早く。

2278

2279 エ「はあ、はあ、はあ、はあ……はあ♡ はあ♡ はあ♡ はあッ
2280 ♡」

2281

2282 息を荒くしている感じで。

2283

2284 エ「フウ、フウ……フウ、フッ♡……フウ♡ フッ♡」

2285

2286 軽く感じてる感じで。

2287

2288 エ「あ、あっ、ああ♡……あ♡ あっ♡ あああ♡……あ、んあ♡……」

2289

2290 強めに感じてる感じで。

2291

2292 エ「んっ、んっ♡……んおっ！ んっ♡ んんっ♡……おほっ♡」

2293

2294 ○前面6―中

2295 フエラ用。

2296

2297 エ「んちゅ♡……ちゅちゅ、ちゅるっ♡……じゅるっ、じゅぽ、じゅ

2298 ぶぶ♡……んちゅ、ちゅ♡……れろ、れろれろ♡……ん♡　んー

2299 っ、んちゅ♡……ちゅぽっ♡……ん、ん♡……んふー♡……ふー、

2300 ふー♡」